

基本目標	施策分野	基本施策	事業	●主事業	担当課	頁
1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援	1(1)①妊娠から継続した総合的な支援体制の整備	ア 利用者支援事業(母子保健型) :子育て世代包括支援センター運営事業	●	地域保健課	1
			イ 利用者支援事業(基本型・特定型) :子育て世代包括支援センター	●	子育て支援課	3
			ウ 妊娠届出の受理と母子健康手帳の交付等	●	地域保健課	5
			エ ママパパ学級	●	地域保健課	7
			オ 特定妊婦・要支援家庭への支援事業	○再掲	地域保健課	
			カ 新生児・産婦訪問指導	○再掲	地域保健課	
			キ 妊婦・乳児一般健康診査助成事業	○再掲	地域保健課	
			ク 子育て電話相談(にこにこダイヤルかしわ)	○再掲	地域保健課	
			ケ 子育て支援事業(母と子のつどい)	○再掲	地域保健課	
			コ 母子保健に関する啓発	○再掲	地域保健課	
			サ 母子保健食育(離乳食教室、食育関係)	○再掲	地域保健課	
			シ 保健栄養事業	●	地域保健課	9
		1(1)②乳幼児の健やかな成長の支援	ア 妊婦・乳児一般健康診査助成事業	●	地域保健課	11
			イ 新生児・産婦訪問指導	●	地域保健課	13
			ウ 乳幼児全戸訪問事業	●	地域保健課	15
			エ 予防接種等事業	●	健康増進課	17
			オ 幼児健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査)	●	地域保健課	19
			カ 子育て電話相談(にこにこダイヤルかしわ)	○再掲	地域保健課	
			キ 電子母子手帳サービス事業	○再掲	地域保健課	
			ク 母子保健に関する啓発	○再掲	地域保健課	
			ケ 母子歯科保健事業	○再掲	地域保健課	
			コ 成人歯科保健事業(かしわ歯科相談室)	○再掲	地域保健課	
			サ 母子保健食育(離乳食教室、食育関係)	○再掲	地域保健課	
			シ 1歳6か月児健康診査事業事後集団指導事業	○再掲	地域保健課	
		ス 小児慢性特定疾病医療支援事業	○再掲	地域保健課		
		セ 未熟児・多胎児等支援事業(のびのび相談)	○再掲	地域保健課		
		ソ こども発達センターの事業	○再掲	地域保健課		
		1(1)③地域ぐるみの子育て支援の充実	ア 子育て支援事業(母と子のつどい)	●	地域保健課	21
	イ 柏市民健康づくり推進員活動		●	地域保健課	23	
	ウ 電子母子手帳サービス事業		○再掲	地域保健課		
	1(1)④災害等における危機管理体制の整備	ア 柏市地域防災計画の運用	●	地域保健課	25	
		イ 柏市保健所震災対応マニュアルに基づく業務推進	●	地域保健課	27	
		ウ 電子母子手帳サービス事業	○再掲	地域保健課		
	1(2)妊娠期からの児童虐待防止対策	1(2)①リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援	ア 利用者支援事業(母子保健型):子育て世代包括支援センター運営事業	○再掲	地域保健課	
			イ 利用者支援事業(基本型・特定型):子育て世代包括支援センター	○再掲	子育て支援課	
			ウ 妊娠届出の受理と母子健康手帳の交付等	○再掲	地域保健課	
			エ ママパパ学級	○再掲	地域保健課	
			オ 妊婦・乳児一般健康診査助成事業	○再掲	地域保健課	
			カ 不妊に悩む方への特定治療支援事業	●	地域保健課	29
			キ 特定妊婦・要支援家庭への支援事業	●	地域保健課	31
		ク 母子保健に関する啓発	○再掲	地域保健課		
		1(2)②地域の医療、福祉、保育機関等との連携	ア 妊婦・乳児一般健康診査助成事業	○再掲	地域保健課	
			イ 利用者支援事業(母子保健型):子育て世代包括支援センター運営事業	○再掲	地域保健課	
	イ 利用者支援事業(基本型・特定型):子育て世代包括支援センター		○再掲	子育て支援課		
	2(1)①育児・健康等の不安の軽減	2(1)①育児・健康等の不安の軽減	ウ 新生児・産婦訪問指導	○再掲	地域保健課	
			エ 乳幼児全戸訪問事業	○再掲	地域保健課	
			オ 幼児健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査)	○再掲	地域保健課	
カ 子育て支援事業(母と子のつどい)			○再掲	地域保健課		
キ 子育て電話相談(にこにこダイヤルかしわ)			●	地域保健課	33	
ク 電子母子手帳サービス事業			●	地域保健課	35	
ケ 母子保健に関する啓発			●	地域保健課	37	
コ BPプログラム			○再掲	子育て支援課		
カ ベアレントプログラム			○再掲	子育て支援課		
キ 健康教育			○再掲	健康増進課		
ク 成人歯科保健事業(かしわ歯科相談室)			○再掲	健康増進課		
ケ こども発達センターの事業			○再掲	地域保健課		

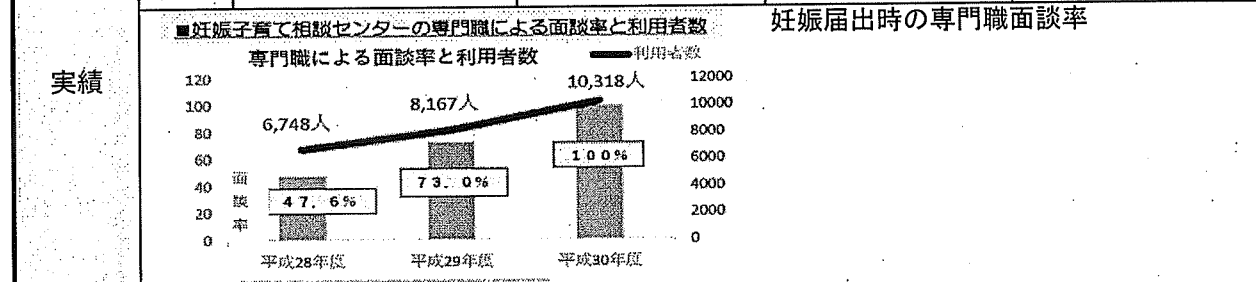
基本目標	施策分野	基本施策	事業	●主事業	担当課	頁
2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち	2(1)子育て・子育て・親育ちの支援	2(1)②地域の医療、福祉、保育、教育機関等との連携	ア 妊婦・乳児一般健康診査助成事業	○再掲	地域保健課	
			イ 母子保健に関する啓発	○再掲	地域保健課	
ウ 健康教育			○再掲	健康増進課		
エ 保育機関への助言相談(巡回相談)			○再掲	地域保健課		
ア ママ/パパ学級			○再掲	地域保健課		
イ 新生児・産婦訪問指導			○再掲	地域保健課		
ウ 乳幼児全戸訪問事業			○再掲	地域保健課		
エ BPプログラム			●	子育て支援課	39	
オ パARENTプログラム			●	子育て支援課	41	
カ 妊婦・乳児一般健康診査助成事業			○再掲	地域保健課		
キ 幼児健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査)			○再掲	地域保健課		
ク 子育て支援事業(母と子のつどい)			○再掲	地域保健課		
ケ 電子母子手帳サービス事業			○再掲	地域保健課		
コ 母子保健に関する啓発			○再掲	地域保健課		
サ 健康教育	○再掲	健康増進課				
シ 保育機関への助言相談(巡回相談)	○再掲	地域保健課				
2(2)健やかな体と心をつくる学びの推進	2(2)①心身の健康づくりの基本に関する教育の推進	ア 思春期保健事業	●	地域保健課	43	
		イ 健康教育	○再掲	健康増進課		
		ウ 母子保健食育(離乳食教室、食育関係)	○再掲	地域保健課		
		エ 栄養改善事業	○再掲	健康増進課		
	2(2)②健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備	ア 地域ウォークの推進	●	健康増進課	45	
		イ 健康教育	●	健康増進課	47	
		ウ 母子歯科保健事業	●	地域保健課	49	
		エ 成人歯科保健事業(かしわ歯科相談室)	●	健康増進課	51	
		オ 母子保健食育(離乳食教室、食育関係)	●	地域保健課	53	
		カ 栄養改善事業	●	健康増進課	55	
		キ タバコ対策	●	健康増進課	57	
		ク 思春期保健事業	○再掲	地域保健課		
		ケ 母子保健に関する啓発	○再掲	地域保健課		
		ア 利用者支援事業(母子保健型):子育て世代包括支援センター運営事業	○再掲	地域保健課		
イ 利用者支援事業(基本型・特定型):子育て世代包括支援センター	○再掲	子育て支援課				
ウ 新生児・産婦訪問指導	○再掲	地域保健課				
エ 乳幼児全戸訪問事業	○再掲	地域保健課				
オ 子育て電話相談(にこにこダイヤルかしわ)	○再掲	地域保健課				
カ 1歳6か月児健康診査事業事後集団指導事業	●	地域保健課	59			
キ 小児慢性特定疾病医療支援事業	○再掲	地域保健課				
ク 養育医療給付事業	○再掲	地域保健課				
ケ 未熟児・多胎児等支援事業(のびのび相談)	○再掲	地域保健課				
コ こども発達センターの事業	○再掲	地域保健課				
3(1)①要支援家庭への個別支援の充実	ア 幼児健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査)	○再掲	地域保健課			
	イ 1歳6か月児健康診査事業事後集団指導事業	○再掲	地域保健課			
	ウ 未熟児・多胎児等支援事業(のびのび相談)	●	地域保健課	61		
	エ 小児慢性特定疾病医療支援事業	●	地域保健課	63		
	オ 養育医療給付事業	●	地域保健課	65		
	カ こども発達センターの事業	●	地域保健課	67		
	ア 幼児健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査)	○再掲	地域保健課			
イ 母子保健に関する啓発	○再掲	地域保健課				
ウ 1歳6か月児健康診査事業事後集団指導事業	○再掲	地域保健課				
エ こども発達センターの事業	○再掲	地域保健課				
3(1)②発達障害に関する正しい理解と適切な支援の普及啓発	ア 子育て支援事業(母と子のつどい)	○再掲	地域保健課			
	イ 母子保健に関する啓発	○再掲	地域保健課			
	ウ 保育機関への助言相談(巡回相談)	●	地域保健課	35		
	エ 小児慢性特定疾病医療支援事業	○再掲	地域保健課			
3(1)③発達障害に関する正しい理解と適切な支援の普及啓発	オ 養育医療給付事業	○再掲	地域保健課			
	カ こども発達センターの事業	○再掲	地域保健課			
	ア 子育て支援事業(母と子のつどい)	○再掲	地域保健課			
	イ 母子保健に関する啓発	○再掲	地域保健課			
3(1)④地域の医療、福祉、保育、教育、療育機関等との連携の強化	ウ 保育機関への助言相談(巡回相談)	●	地域保健課	35		
	エ 小児慢性特定疾病医療支援事業	○再掲	地域保健課			
	オ 養育医療給付事業	○再掲	地域保健課			
	カ こども発達センターの事業	○再掲	地域保健課			
3. 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち	3(1)配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援	3(1)②発達障害・養育環境等の不安の軽減	ア 利用者支援事業(母子保健型):子育て世代包括支援センター運営事業	○再掲	地域保健課	
			イ 利用者支援事業(基本型・特定型):子育て世代包括支援センター	○再掲	子育て支援課	
			ウ 新生児・産婦訪問指導	○再掲	地域保健課	
			エ 乳幼児全戸訪問事業	○再掲	地域保健課	
			オ 子育て電話相談(にこにこダイヤルかしわ)	○再掲	地域保健課	
			カ 1歳6か月児健康診査事業事後集団指導事業	●	地域保健課	59
			キ 小児慢性特定疾病医療支援事業	○再掲	地域保健課	
			ク 養育医療給付事業	○再掲	地域保健課	
			ケ 未熟児・多胎児等支援事業(のびのび相談)	○再掲	地域保健課	
			コ こども発達センターの事業	○再掲	地域保健課	
			ア 幼児健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査)	○再掲	地域保健課	
			イ 1歳6か月児健康診査事業事後集団指導事業	○再掲	地域保健課	
			ウ 未熟児・多胎児等支援事業(のびのび相談)	●	地域保健課	61
			エ 小児慢性特定疾病医療支援事業	●	地域保健課	63
オ 養育医療給付事業	●	地域保健課	65			
カ こども発達センターの事業	●	地域保健課	67			
3(1)③発達障害に関する正しい理解と適切な支援の普及啓発	ア 幼児健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査)	○再掲	地域保健課			
	イ 母子保健に関する啓発	○再掲	地域保健課			
	ウ 1歳6か月児健康診査事業事後集団指導事業	○再掲	地域保健課			
	エ こども発達センターの事業	○再掲	地域保健課			
3(1)④地域の医療、福祉、保育、教育、療育機関等との連携の強化	ア 子育て支援事業(母と子のつどい)	○再掲	地域保健課			
	イ 母子保健に関する啓発	○再掲	地域保健課			
	ウ 保育機関への助言相談(巡回相談)	●	地域保健課	35		
	エ 小児慢性特定疾病医療支援事業	○再掲	地域保健課			
3(1)④地域の医療、福祉、保育、教育、療育機関等との連携の強化	オ 養育医療給付事業	○再掲	地域保健課			
	カ こども発達センターの事業	○再掲	地域保健課			
	ア 子育て支援事業(母と子のつどい)	○再掲	地域保健課			
	イ 母子保健に関する啓発	○再掲	地域保健課			
3(1)④地域の医療、福祉、保育、教育、療育機関等との連携の強化	ウ 保育機関への助言相談(巡回相談)	●	地域保健課	35		
	エ 小児慢性特定疾病医療支援事業	○再掲	地域保健課			
	オ 養育医療給付事業	○再掲	地域保健課			
	カ こども発達センターの事業	○再掲	地域保健課			

事業名【●利用者支援事業(母子保健型):子育て世代包括支援センター】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援
基本施策	1(1)①妊娠から継続した総合的な支援体制の整備
担当課	地域保健課
関係課	
事業目的	安心して、子どもを産み育てることができるようにするため、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供する。
事業目標	虐待の予防や早期発見を含め、妊娠期からの切れ目のない支援を実現する。
事業対象者	妊産婦、児とその家族
具体的な事業実施内容	○母子保健や育児等に関する様々なニーズに対して、専門職等による総合相談支援を行う子育て世代包括支援センターをワンストップ拠点として整備。 ○核家族化、居住年数の浅い子育て家族、働く母親等が多い地域特性を捉え、安心して妊娠・出産できるための支援の整備。 ○若年妊婦、経済的な問題、心身の不調等による支援を要する子育て家庭へ、的確な切れ目のない支援の整備を図る。
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備

前期の振り返り

	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			40.0	60.0	100.0
実績			47.5	73.0	100.0



**成果** 妊娠子育て相談センターを、平成29年度3箇所、平成30年度4箇所と増設。妊娠届出における全数面談を保健師等専門職により実施。平成30年度は面談率100%となった。

**課題** 妊娠届出時の保健師等専門職による面談率100%となったことに関しては、事業の評価としては有効であったと考えられる。一方で、要支援者の把握が増加していることに伴い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行っていく必要がある。

後期計画期間5年間の事業実施計画

**実施計画**

- ・妊産婦・乳幼児等の実情把握、情報提供・保健指導、支援プラン作成。
- ・対応する職員のスキルが標準化するよう、マニュアルの見直しやスキルアップのための研修会等の実施。
- ・全数面談を継続し、関係部署、関係機関と連携して、要支援者を早期把握、早期支援に繋げる。
- ・すこやかプテルームの充実。

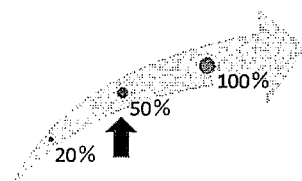
評価指標の推移

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標1	1②	妊娠・出産について満足している者の割合	「とても満足している」「満足している」 91.1%	「とても満足している」「満足している」 93.0%	アンケート暫定値

指標4	1②	育児期間中の両親の喫煙率(母)	3~6か月児:4.6% 1歳6か月児:6.5% 3歳児:9.7%	3~6か月児:0% 1歳6か月児:0% 3歳児:0%	3・4か月児:0.8% 1歳6か月児:5.1% 3歳児:6.3% 合計:4.1%
指標5	1②	育児期間中の両親の喫煙率(父)	3~6か月:32.0%	3~6か月:15.0%	3・4か月児:23.9%
指標6	1②	妊娠中の妊婦の飲酒率	2.3%	0%	1.2%
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3~6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3~6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6% 合計:93.6%
指標11	1①	仕事を持つ妊婦の割合(★)	53.9%	56.0%	アンケート暫定値
指標13	1①	妊娠届出時の保健師等による面談率(★)	(平成26年度) 41.4%	100%	100.0%
指標14	3	ハイリスク妊婦の割合(★)	(平成26年度) 11.0%	9.0%	18.8%
指標15	3	特定妊婦の割合(★)	(平成26年度) 2.9%	減少	6.9%
指標16	1①	乳幼児家庭全戸訪問事業での面談率(★)	(平成26年度) 68.6%	80.0%	97.0%
指標17	1①	新生児訪問の実施率(★)	(平成26年度) 51.9%	70.0%	82.4%
指標18	1①	積極的に育児をしている父親の割合	「よくやっている」 3~6か月児:47.1%	3~6か月:50.0%	「よくやっている」 3・4か月児:58.4%
指標19	2	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	3~6か月児:59.3% (平成26年度) 1歳6か月児:81.1% 3歳児:80.6%	3~6か月児:72.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:88.0%	参考値 3歳児:86.0%
指標20	1②	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	(平成26年度) 56.9%	63.0%	3歳児:59.5%
指標21	2	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	「よく行く」「たまに行く」 3~6か月児:40.8% 1歳6か月児:48.4% 3歳児:37.3%	3~6か月児:45.0% 1歳6か月児:50.0% 3歳児:43.0%	アンケート暫定値
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3~4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3~4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標26	1②	虐待の可能性のある行為をしている親の割合	3~4か月児:10.0% 1歳6か月児:36.0% 3歳児:58.5%	3~4か月児:5.0% 1歳6か月児:18.0% 3歳児:25.0%	3・4か月児:10.5% 1歳6か月児:21.4% 3歳児:42.2%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3~6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3~6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」 「時々感じる」 3・4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8% 3歳児:35.4%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 68.4%</b></p> <p>1①: 5/19</p> <p>1②: 8/19</p> <p>2 : 4/19</p> <p>3 : 2/19</p> </div> 				
備考					

事業名【●利用者支援事業(基本型・特定型)】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち				
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援				
基本施策	1(1)①妊娠から継続した総合的な支援体制の整備				
担当課	子育て支援課				
関係課					
事業目的	子ども及びその保護者、妊娠している方が、教育・保育・保健その他の子育て支援を円滑に利用でき、また、妊娠・出産・子育てに対する不安や負担の軽減を図ることを目的とする。				
事業目標	利用者支援事業の基本型を、地域バランスを考慮しながら整備する。				
事業対象者	就学前の乳幼児と保護者及び妊娠中の方				
具体的な事業実施内容	子育てに関する全般的な相談や各種子育て支援サービスを円滑に利用できるようにするために、助言や情報提供を行う子育て支援アドバイザーを、子どもを遊ばせながら気軽に相談できる場所として、はぐはぐひろば沼南(H29)・はぐはぐひろば若柴(H31)へ配置。家庭の状況や相談者の希望に併せて関係機関へつなぎ、利用する際のサポート等も実施した。また、はぐはぐひろばに来ることができない親子への対応として、出張相談を実施。				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値			1か所	1か所
	実績			1か所	1か所
成果	平成29年度5月に、地域子育て支援拠点はぐはぐひろば沼南で本事業を開始。一人ひとりに寄り添い、子育ての相談の対応や必要な支援サービスや情報の提供、必要に応じた関係機関へのつなぎ等を行うことで、子育て支援アドバイザーへの相談は1ヵ月あたり約50件あり、ニーズはとても高い。平成31年4月から2か所目として、はぐはぐひろば若柴においても事業を実施している。				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援アドバイザーの養成</li> <li>・事業実施場所の拡充</li> <li>・拠点に来ることができない親子への対応</li> </ul>				
後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援員研修(利用者支援事業専門コース)の実施</li> <li>・単独の地域子育て支援拠点を中心とし、地域バランスや人口動態を考慮した実施場所の検討</li> <li>・親子が集まる場所等への子育て支援アドバイザーの出張相談の検討</li> </ul>				
評価指標の推移					

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3~6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3~6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6% 合計:93.6%
指標11	1①	仕事を持つ妊婦の割合(★)	53.9%	56.0%	アンケート暫定値
指標12	3	地域の人からの声かけ状況(★)	3~6か月児:77.7% 1歳6か月児:88.8% 3歳児:83.3%	3~6か月児:84.0% 1歳6か月児:90.0% 3歳児:88.0%	アンケート暫定値
指標14	3	ハイリスク妊婦の割合(★)	(平成26年度) 11.0%	9.0%	18.8%
指標15	3	特定妊婦の割合(★)	(平成26年度) 2.9%	減少	6.9%
指標18	1①	積極的に育児をしている父親の割合	「よくやっている」 3~6か月児:47.1%	3~6か月:50.0%	「よくやっている」 3・4か月児:58.4%
指標21	2	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	「よく行く」「たまに行く」 3~6か月児:40.8% 1歳6か月児:48.4% 3歳児:37.3%	3~6か月児:45.0% 1歳6か月児:50.0% 3歳児:43.0%	アンケート暫定値
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3~4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3~4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標26	1②	虐待の可能性のある行為をしている親の割合	3~4か月児:10.0% 1歳6か月児:36.0% 3歳児:58.5%	3~4か月児:5.0% 1歳6か月児:18.0% 3歳児:25.0%	3・4か月児:10.5% 1歳6か月児:21.4% 3歳児:42.2%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3~6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3~6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」 「時々感じる」 3・4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8% 3歳児:35.4%
指標全体の評価		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 45.5%</b></p> <p>1①: 2/11</p> <p>1②: 3/11</p> <p>2: 3/11</p> <p>3: 3/11</p> <p>4: 0/11</p> </div> 			
備考		<p>基本型:子育てに関すること全般の情報提供や相談業務(子育て支援課)                  特定型:保育アシストデスク(保育運営課)</p> <p>指標11~21については、利用者支援事業(基本型)の指標としては、適当ではないと思われる。子育てに関する情報提供という側面から考慮すると、指標25の「子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合」の方が、指標として当てはまるため、検討が必要。</p>			

事業名【●妊娠届出の受理と母子健康手帳の交付等】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援
基本施策	1(1)①妊娠から継続した総合的な支援体制の整備
担当課	地域保健課
関係課	健康増進課
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健法に基づき、妊娠届出の段階から支援が必要な家庭を把握し、早期の支援・対応に繋げる。</li> <li>母子手帳の交付を行い、切れ目のない支援を目指す。</li> <li>妊娠届出のデータを集計し、分析すると共に、市内の出生の動向を把握する。</li> </ul>
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠届出時に保健師等の専門職による全数面接を行い、適切な聞き取りを行う。</li> <li>対象者の支援の必要性を判断し、早期の支援・対応を行う。</li> </ul>
事業対象者	・柏市に住民票がある妊産婦とその家族。
具体的な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊娠の届出をしたものに、母子健康手帳を交付する。</li> <li>○母子健康手帳交付時に、専門職による面談を行い適切なサービスの提供を行う。</li> <li>また、必要時地域担当保健師等への情報提供を行う。</li> </ul>
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備

前期の振り返り

実績	保健師等専門職による妊娠届出時の面談				
	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値		100	100	100
	実績(割合)		47.6	73	100
	・H29年10月より、妊娠子育て相談センターを開所し、保健師等専門職による妊娠届出時の面談が開始。				
	妊娠届出数(両備より抽出した値、転入含む:12月時点)及びハイリスク数				
	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	妊娠届出数	3768	3704	3681	3582
	ハイリスク数	422	449	549	664
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全数に母子手帳の交付を実施している。</li> <li>・妊娠届出全数へ母子手帳の発行を行った。H29年10月より柏市妊娠子育て相談センターを開設し、H30年度は専門職による面談率が100%となった。</li> <li>・ハイリスク数は年々増加傾向にあり、平均して全体の約2割ほどを占めている。</li> </ul>			

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届出時のハイリスク項目の区分の選別を行い、その内容や傾向について分析を行う。ハイリスク項目の「その他」の項目の増加が見られたため、さらなる細分化を行い、詳細について把握する必要がある。</li> <li>・各窓口での専門職による面談時、サービスの偏りが無いよう対応マニュアルの統一を図る必要がある。</li> </ul>
----	--

後期計画期間5年間の事業実施計画

実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届出時の専門職による面談率を100%にて維持する。また、サービスの統一のため、業務マニュアルの修正を行う。</li> <li>・年間のハイリスクの傾向に合わせ、ハイリスク区分の検討、細分化を行う。</li> <li>・妊娠届出書の内容を年度ごとに改変し、対象者の把握がしやすいものを作成する。</li> </ul>
------	---

評価指標の推移

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標 1	1②	妊娠・出産について満足している者の割合	「とても満足している」「満足している」 91.1%	「とても満足している」「満足している」 93.0%	アンケート暫定値
指標13	1①	妊娠届出時の保健師等による面談率(★)	(平成26年度) 41.4%	100%	100.0%
指標16	1①	乳幼児家庭全戸訪問事業での面談率(★)	(平成26年度) 68.6%	80.0%	97.0%
指標17	1①	新生児訪問の実施率(★)	(平成26年度) 51.9%	70.0%	82.4%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%

指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p><b>改善割合 100%</b></p> <p>1①： 3 / 5</p> <p>1②： 2 / 5</p> <p>2： 0 / 5</p> <p>3： 0 / 5</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> </div>
---------	---

備考	
----	--



事業名 【●ママパパ学級】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち				
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援				
基本施策	1(1)①妊娠から継続した総合的な支援体制の整備				
担当課	地域保健課				
関係課					
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期に知識や健康づくりの啓発及び子育ての仲間づくりを行う。</li> <li>・初産婦とその家族が周囲のサポートをスムーズに得られ、子育て仲間を持ちながら精神的に落ち着いて育児ができるようになる。</li> <li>・ママパパ学級をきっかけとして、育児において協力的な父親が増加する等、子育て家庭の主体的な子育てを支援する。</li> </ul>				
事業目標	妊娠、出産、子育てに関する悩みや不安を傾聴し、相談支援を行う。また、地域における妊婦・母親同士の交流を促し、妊産婦が家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし、育児に臨めるようサポートする。				
事業対象者	初めて出産を迎える妊婦とその家族を対象とする。				
具体的な事業実施内容	<p>【ママパパサロン、サタデーゆりかごサロン】 ビデオ学習、先輩ママパパとの交流、グループワーク(沐浴体験、妊婦疑似体験、塩分濃度測定体験、栄養・歯科)、柏市母子保健サービス紹介</p> <p>【かんがるーサロン】 グループワーク(先輩ママパパとの交流、生活習慣の見直し)、ビデオ学習、赤ちゃんのお世話体験(抱っこ、着替え)</p> <p>【こうのとりサロン】 グループワーク(赤ちゃんのイメージ、産後のサポート状況確認)、ビデオ学習、講話(産後うつ、栄養)、赤ちゃんのお世話体験(抱っこ、着替え、オムツ替え)</p>				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備				
前期の振り返り					
実績	受講によって安心して出産・育児を迎えられるようになった参加者の割合				
	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値		100.0	100.0	100.0
	実績		91.7	92.6	99.0
	受講者数				
	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	1,460	1,420	1,420	1,000
	実績	1,454	1,088	1,202	876
	平成30年度より、産前産後サポート事業デイスター型の一環として実施。事業内容の見直し(育メン編、子育て栄養編、すこやかママ編を統合し、ママパパサロンを実施)を行ったため、受講者数の目標値、実績値が減少している。平成30年度はママパパサロン、サタデーゆりかごサロン、かんがるーサロン、こうのとりサロンに参加した妊産婦とその家族の合計数となっている。				
	成果	受講により、安心して出産・育児を迎えられるようになった参加者の割合は、平成30年度に99%となっている。受講者数は目標値を達成できない状況が続いているが、ママパパサロンは毎回定員を超える参加希望がある。			

**課題**  
 ママパパサロンはキャンセル待ちが発生している状況であり、希望者が多く参加できるような体制づくりが必要である。一方、かんがるーサロン、このとりサロンはハイリスクアプローチとして実施しているが、参加者数の確保が課題となっている。

後期計画期間5年間の事業実施計画

**実施計画**  
 ・各サロンについて、市民ニーズの把握や出産予定日の考慮により、開催回数の検討を行う。  
 ・ハイリスクアプローチのサロンについては、妊婦全数面接時や産前産後サポート事業実施時、地域担当保健師介入時に対象者へ案内を行う。また、ホームページへの掲載やネット予約の活用等、効果的な周知方法を検討していく。  
 ・アンケート集計等から得られた参加者の反応をもとに、参加者がより積極的に取り組むことが出来るよう、プログラム内容の見直しを行う。

評価指標の推移

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標1	1②	妊娠・出産について満足している者の割合	「とても満足している」 「満足している」 91.1%	「とても満足している」 「満足している」 93.0%	アンケート暫定値
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3～6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児: 92.5% 1歳6か月児: 97.4%
指標16	1①	乳幼児家庭全戸訪問事業での面談率(★)	(平成26年度) 68.6%	80.0%	97.0%
指標17	1①	新生児訪問の実施率(★)	(平成26年度) 51.9%	70.0%	82.4%
指標18	1①	積極的に育児をしている父親の割合	3～6か月児:47.1%	3～6か月:50.0%	3・4か月児: 58.4%
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児: 86.0% 1歳6か月児: 83.1% 3歳児:77.4%
指標26	1②	虐待の可能性のある行為をしている親の割合	3～4か月児:10.0% 1歳6か月児:36.0% 3歳児:58.5%	3～4か月児:5.0% 1歳6か月児:18.0% 3歳児:25.0%	3・4か月児: 10.5% 1歳6か月児: 21.4%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%

**指標全体の評価**

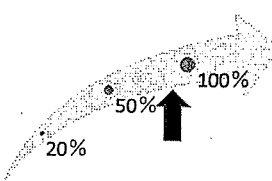
改善割合 87.5%

1①: 3/8

1②: 4/8

2: 1/8

3: 0/8

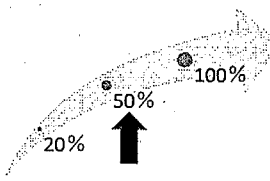


**備考**

事業名【●保健栄養事業】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち				
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援				
基本施策	1(1)①妊娠から継続した総合的な支援体制の整備				
担当課	地域保健課				
関係課					
事業目的	生涯にわたって健康な生活を送るため、乳幼児期に健全な食生活を確立することの大切さを理解し、家族で望ましい食生活を実践することができるよう支援する。				
事業目標	妊婦や乳幼児の保護者に講話・実習等を通じた啓発を行い、健全な食生活をおくれるよう支援する。また栄養相談を行い、不安や悩みの軽減につなげる。				
事業対象者	妊婦、乳幼児と保護者				
具体的な事業実施内容	<p>地域における食支援:母と子のつどいやサロン等における講話や栄養相談、地域の調理実習を通して、望ましい食生活に関する正しい知識の普及啓発等を行う。</p> <p>栄養相談(電話・来所):対象者に合わせた栄養相談を通して、健全な食生活を確立するための支援を行う。</p> <p>ママパパクッキング:妊産婦の食生活指針の講話や、バランスの良い献立や離乳食の調理実習を通じて、妊娠中、産後をとおした健康づくりのための食生活を実践できるよう支援する。</p>				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業3 乳幼児の健やかな成長支援				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	40	60	70	40
	実績	31	69	74	42
			後期離乳食教室開始		後期離乳食教室が8か月児相談事業に統合されたので組数が減少した
離乳食教室参加組数(月平均)					
成果	各地域での講話や栄養相談、調理実習等を実施し、正しい知識の普及啓発を行った。電話や来所による相談を通じ、不安や悩みの軽減を図った。ママパパクッキングは終了し、ママパパサロンの講話へ一本化した。また、妊娠期の栄養や口腔に関するリーフレットの配架を産科医療機関や歯科医院へ依頼し、啓発の強化を図った。				
課題	多様な暮らしや子どもの発達状況に合わせた食支援の充実。				
後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	母子保健事業等の様々な機会をとらえ、妊娠期から始まる健全な食生活を確立するための正しい知識の普及・啓発を実施する。				

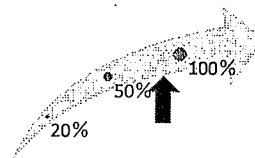
評価指標の推移

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標23	3	朝食を子どものみで食べている児の割合	1歳6か月児:8.2% 3歳児:8.2%	1歳6か月児:6.5% 3歳児:6.5%	アンケート暫定値
指標28	2	妊娠中の食事(三食)の摂取状況(★)	74.5%	80.00%	アンケート暫定値
指標31	1②	小中学生の痩身傾向児(肥満度-20%以下)の割合	(平成26年度) 小学生:1.6% 中学生:3.0%	小学生:減少 中学生:2.0%	小学生:1.3% 中学生:2.9%
指標32	3	小中学生の肥満傾向児(肥満度+20%以上)の割合	(平成25年度) 小学生:6.7% 中学生:7.5%	小学生:減少 中学生:減少	小学生:7.3% 中学生:7.5%
指標36	1②	朝食を欠食する小中学生の割合	(平成24年度) 小学5年生:8.5% 中学2年生:10.9%	小学5年生 5.0% 中学2年生 7.0%	小学5年生:6.7% 中学2年生:9.0%
指標37	1②	規則的な生活リズムで生活する児の割合(★)	1歳6か月児: 81.4%	1歳6か月児: 79.0%	アンケート暫定値
指標全体の評価		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>改善割合 50%</p> <p>1①: 0/6</p> <p>1②: 3/6</p> <p>2 : 1/6</p> <p>3 : 2/6</p> </div> 			
備考					

事業名【●妊婦・乳児一般健康診査助成事業】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち				
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援				
基本施策	1(1)②乳幼児の健やかな成長の支援				
担当課	地域保健課				
関係課					
事業目的	安心安全な出産、乳幼児の子育てに向けて、適切な健康診査が受けられるようにすること。経済的負担を理由に健診を受診しないということがないように公費助成を行い、妊婦及び乳児の健康保持増進を図る。				
事業目標	○妊娠届の早期届出と妊婦一般健康診査受診票の利用率向上及び健診受診率の向上 ○乳児一般健康診査を通じた乳児の発育発達の確認と必要時継続支援の実施				
事業対象者	○柏市に住民票のある妊婦 ○柏市に住民票のある乳児(3～6か月、9～11か月)				
具体的な事業実施内容	○妊婦に対し、公費助成による妊婦健康診査受診票(14回分)を交付 ○乳児に対し、公費助成による乳児一般健康診査受診票(生後3～6か月に1回、9～11か月に1回の計2回分)を交付 ○受診票が使用できる委託医療機関との契約、周知を実施 ○契約外医療機関で受診した方へ自己負担の軽減化を図るため償還払い制度を設けている ○転入者への別冊交換				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値				
	実績				
成果	妊娠子育て相談センター開設に伴い、専門職による妊娠届出時全数面接を実施したことで、妊婦及び乳児が適切に受診票の使用についての啓発につながった				
課題	○里帰りの妊婦や乳児が増加している。里帰り先でも受診がしやすいよう、契約を推奨していく必要がある ○転入妊婦や乳児が受診票を適切に使用できるよう、対応マニュアルの見直しとHPなどを活用しながら周知していく ○未受診者の状況を把握し、必要に応じて支援へと繋げていくようにする				
後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	○妊婦及び乳児が適切に受診票を使用し、母体及び乳児の健康管理が出来るよう、医療機関への周知の強化が必要である ○飛び込み出産や児童虐待を未然に防ぐため、未受診者をシステムから抽出して、地域担当保健師と協力するなど支援方法について検討し、実施していく ○産婦健診の検討 ○新生児聴覚検査の検討				

評価指標の推移

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標1	1②	妊娠・出産について満足している者の割合	「とても満足している」「満足している」 91.1%	「とても満足している」「満足している」 93.0%	アンケート暫定値
指標3	1②	妊娠中の妊婦の喫煙率	3～6か月児:3.76% 1歳6か月児:1.5% 3歳児:2.0% 合計:2.6%	0%	アンケート暫定値
指標4	1②	育児期間中の両親の喫煙率(母)	3～6か月児:4.6% 1歳6か月児:6.5% 3歳児:9.7%	3～6か月児:0% 1歳6か月児:0% 3歳児:0%	3・4か月児:0.8% 1歳6か月児:5.1% 3歳児:6.3% 合計:4.1%
指標5	1②	育児期間中の両親の喫煙率(父)	3～6か月:32.0%	3～6か月:15.0%	3・4か月児:23.9%
指標6	1②	妊娠中の妊婦の飲酒率	2.3%	0%	1.2%
指標7	2	乳幼児健康診査の未受診率	3～6か月児:1.7% 1歳6か月児:8.2% 3歳児:10.7% *修正 3～6か月児 9.57%	3～6か月児:1.5% 1歳6か月児:5.0% 3歳児:7.0%	3～6か月児:13.6% 1歳6か月児:8.8% 3歳児:10.1% *修正 3～6か月 児 9.2%
指標17	1①	新生児訪問の実施率(★)	(平成26年度) 51.9%	70.0%	82.4%
指標19	2	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	3～6か月児:59.3% (平成26年度) 1歳6か月児:81.1% 3歳児:80.6%	3～6か月児:72.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:88.0%	3・4か月児:51.0% 3歳児:86.0%
指標20	1②	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	(平成26年度) 56.9%	63.0%	3歳児:59.5%
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%
指標全体の評価		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 81.8%</b></p> <p>1①: 1/11</p> <p>1②: 8/11</p> <p>2: 2/11</p> <p>3: 0/11</p> </div> 			
備考					

事業名【●新生児・産婦訪問指導】

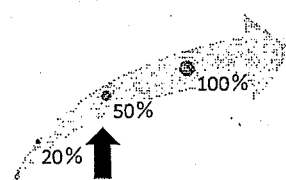
基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち				
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援				
基本施策	1(1)②乳幼児の健やかな成長の支援				
担当課	地域保健課				
関係課					
事業目的	乳児のいる家庭と地域社会をつなぐことで孤立化を防ぎ、健全な育成環境の確保を図る。産後の育児不安等を軽減することで保護者が安心して安定して子育てをすることができる。子育てに関する不安や心配悩みを早期に相談でき、不安が解消できる。また要支援者を早期に発見し、必要な支援へつなぐことができる。				
事業目標	新生児訪問、こんにちは赤ちゃん訪問で全数家庭訪問を行なう。				
事業対象者	柏市内に住所を有する生後3か月未満の乳児がいるすべての家庭。				
具体的な事業実施内容	出生から生後3か月未満は助産師・保健師が訪問する。訪問時は親子の心身の状況や養育環境等を確認するとともに、生活や育児に関する相談支援を行なう。継続支援が必要な家庭には再訪問を実施し、安定した育児ができるよう助言指導を行なう。				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備				
前期の振り返り					
実績	新生児訪問訪問率				
	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	100	100	100	100
	実績		92.3	99.7	98.2
	新生児訪問面談率				
	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	100	100	100	100
	実績		85.2	95.7	97
成果	平成29年度より新生児・産婦訪問事業で全数訪問を実施し、訪問実施率や面談率の増加が見られている。				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児訪問実施率、こんにちは赤ちゃん訪問面談率の増加。早期の新生児訪問の実施。</li> <li>・訪問にて要支援となった者を早期に適切な支援につなげる。</li> </ul>				
後期計画期間5年間の事業実施計画					

実施計画 ・引き続き、全数面接、早期訪問を目指した運用を継続。 ・安心した訪問が行えるようなスキルの習得、早期に要支援者を発見できるようなアセスメント力等訪問の質向上に向けた研修会の実施。 ・新生児訪問、こんにちは赤ちゃん訪問で会えなかった家庭への対応や他事業とのつながりについて検討。					
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標7	2	乳幼児健康診査の未受診率	3～6か月児:1.7% 1歳6か月児:8.2% 3歳児:10.7% *修正 3～6か月児 9.57%	3～6か月児:1.5% 1歳6か月児:5.0% 3歳児:7.0%	3～6か月児:13.6% 1歳6か月児:8.8% 3歳児:10.1% *修正 3～6か月児 9.2%
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3～6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3～4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6% 合計:93.6%
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3～4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標25	1②	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	3～4か月児:88.3% 1歳6か月児:89.3% 3歳児:84.6%	3～4か月児:90.0% 1歳6か月児:90.0% 3歳児:90.0%	3～4か月児:85.4% 1歳6か月児:97.8% 3歳児:87.0%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3～6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3～6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」 「時々感じる」 3～4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8% 3歳児:35.4%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="text-align: center;"><b>改善割合 50%</b></p> <p>1①: 0/6</p> <p>1②: 3/6</p> <p>2: 3/6</p> <p>3: 0/6</p> </div> 				
備考	指標16・17追加必要				



事業名【●乳幼児全戸訪問事業】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち				
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援				
基本施策	1(1)②乳幼児の健やかな成長の支援				
担当課	地域保健課				
関係課					
事業目的	乳児のいる家庭と地域社会をつなぐことで孤立化を防ぎ、健全な育成環境の確保を図る。産後の育児不安等を軽減することで保護者が安心して安定して子育てをすることができる。子育てに関する不安や心配悩みを早期に相談でき、不安が解消できる。また要支援者を早期に発見し、必要な支援へつなぐことができる。				
事業目標	こんにちは赤ちゃん訪問で全数家庭訪問を行なう。				
事業対象者	柏市内に住所を有する生後5か月までの乳児がいるすべての家庭。				
具体的な事業実施内容	出生から生後3か月未満は新生児訪問事業として助産師・保健師が訪問、生後3か月以降はこんにちは赤ちゃんとして看護師・保健師が訪問をしている。訪問時は親子の心身の状況や養育環境等を確認するとともに、生活や育児に関する相談支援を行なう。継続支援が必要な家庭には再訪問を実施し、安定した育児ができるよう助言指導を行なう。				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備				
前期の振り返り					
実績	新生児訪問訪問率				
	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	100	100	100	100
	実績		92.3	99.7	98.2
	新生児訪問面談率				
	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	100	100	100	100
	実績		85.2	95.7	97
成果	平成29年度より新生児・産婦訪問事業で全数訪問を実施し、訪問実施率や面談率の増加が見られている。				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児訪問実施率、こんにちは赤ちゃん訪問面談率の増加。早期の新生児訪問の実施。</li> <li>・訪問にて要支援となった者を早期に適切な支援につなげる。</li> </ul>				
後期計画期間5年間の事業実施計画					

実施計画 ・引き続き、全数面接、早期訪問を目指した運用を継続。 ・安心した訪問が行えるようなスキルの習得、早期に要支援者を発見できるようなアセスメント力等訪問の質向上に向けた研修会の実施。 ・新生児訪問、こんにちは赤ちゃん訪問で会えなかった家庭への対応や他事業とのつながりについて検討。					
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3～6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6% 合計:93.6%
指標12	3	地域の人からの声かけ状況(★)	3～6か月児:77.7% 1歳6か月児:88.8% 3歳児:83.3%	3～6か月児:84.0% 1歳6か月児:90.0% 3歳児:88.0%	アンケート暫定値
指標21	2	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	「よく行く」「たまに行く」 3～6か月児:40.8% 1歳6か月児:48.4% 3歳児:37.3%	3～6か月児:45.0% 1歳6か月児:50.0% 3歳児:43.0%	アンケート暫定値
指標24	1②	ゆったりとした気分でも子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標25	1②	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	3～4か月児:88.3% 1歳6か月児:89.3% 3歳児:84.6%	3～4か月児:90.0% 1歳6か月児:90.0% 3歳児:90.0%	3・4か月児:85.4% 1歳6か月児:97.8% 3歳児:87.0%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3～6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6%	3～6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」 「時々感じる」 3・4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>改善割合 42.9%</p> <p>1①: 0/7</p> <p>1②: 3/7</p> <p>2: 3/7</p> <p>3: 1/7</p> <p>4: 0/7</p> </div> 				
備考	指標16・17追加必要				

事業名【●予防接種事業】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援
基本施策	1(1)②乳幼児の健やかな成長の支援
担当課	健康増進課
関係課	
事業目的	・伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防すること ・個人の発病又はその重症化を防止すること
事業目標	目的達成のため、各予防接種の接種率を高めること
事業対象者	(予防接種)主に乳児期から学童期のこども (風しん抗体検査, 風しん予防接種)妊娠を希望する女性とそのパートナー, 妊婦の夫, 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性
具体的な事業実施内容	各種予防接種, 風しん抗体検査の実施
総合計画関連計画等における位置づけ	柏市第五次総合計画 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じた決め細かな支援の推進 取組1子どもの健やかな成長支援 事業3乳幼児の健やかな成長支援

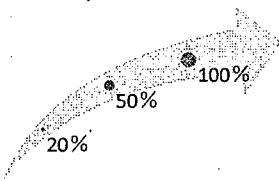
前期の振り返り

実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	不明	135,000	145,000	145,000
	実績	130,981	142,102	146,136	149,715
成果	参考指標として、予防接種の実施件数を設定している				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種予防接種, 風しん抗体検査の実施</li> <li>誤接種の防止</li> <li>昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象とした風しん抗体検査及び第5期風しん予防接種の実施率向上</li> </ul>				

後期計画期間5年間の事業実施計画

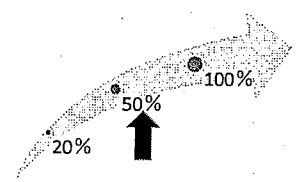
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>国等の制度変更等に適切に対応しながら、事業を進めていく</li> <li>誤接種防止に向けた取り組みの推進</li> <li>第5期風しん予防接種及び風しん抗体検査の実施率向上に向けた啓発及び個別勧奨の実施</li> </ul>
------	---

評価指標の推移

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
		適応指標なし			
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; margin-right: 20px;"> <p>指標達成度割合    %</p> <p>1①：    /</p> <p>1②：    /</p> <p>2   ：    /</p> <p>3   ：    /</p> </div> 				
備考					

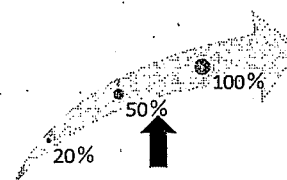
事業名【●幼児健康診査(1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査)】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち				
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援				
基本施策	1(1)②乳幼児の健やかな成長の支援				
担当課	地域保健課				
関係課	衛生検査課 こども発達センター				
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児の心身の健全な育成が育まれるように幼児の健康の維持及び問題の早期解決を図る。</li> <li>・保護者の育児支援を行い、保護者が安心して育児を継続できる。</li> <li>・子育てに難しさを感じている保護者が、子の成長発育を確認し子育てへの安心感と自信を持って育児をすることができる。</li> </ul>				
事業目標	未把握率 2.0%以内				
事業対象者	1歳6か月児健康診査:1歳6か月に達した柏市民 3歳児健康診査:3歳6か月に達する柏市民				
具体的な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月児健康診査, 3歳児健康診査(集団健診)</li> <li>①対象児への個別通知, ②健診会場にて身体計測, 口腔内観察(3歳児は歯科健診), 多職種による相談・指導, ③精密健診受診票発行(必要者), ④継続支援(必要者), ⑤未受診者への受診勧奨</li> </ul>				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業3 乳幼児の健やかな成長支援				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	なし	なし	2.0%	2.0%
	実績	なし	なし	1・6健 0.5% 3健 0.5%	1・6健 0.87% 3健 0.86%
	※未把握者率				
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診率向上に向けた取り組みとして、対象月未受診者に対する受診勧奨はがきの送付、転入者への通知送付、他市区町村への依頼(転出者)を実施。</li> <li>・対象外となった児に対する未受診調査(電話、訪問等)を実施。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいスクリーニングを行うための精度管理。</li> <li>・国の「乳幼児健診等母子保健情報の利活用の推進のための運用開始(以下データヘルス計画)」に向けた体制整備。</li> </ul>				
後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいスクリーニングを行うための精度管理。</li> <li>・国の「乳幼児健診等母子保健情報の利活用の推進のための運用開始(以下データヘルス計画)」に向けた体制整備による正しい受診率の把握。</li> <li>・未把握者減少のための取り組み。</li> </ul>				
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標2	1①	むし歯のない3歳児の割合	82.7%	85.00%	86.9%

指標4	1②	育児期間中の両親の喫煙率(母)	3~6か月児:4.6% 1歳6か月児:6.5% 3歳児:9.7%	3~6か月児:0% 1歳6か月児:0% 3歳児:0%	3・4か月児:0.8% 1歳6か月児:5.1% 3歳児:6.3% 合計:4.1%
指標5	1②	育児期間中の両親の喫煙率(父)	3~6か月:32.0%	3~6か月:15.0%	3・4か月児:23.9%
指標7	2	乳幼児健康診査の未受診率	3~6か月児:1.7% 1歳6か月児:8.2% 3歳児:10.7% *修正 3~6か月児 9.57%	3~6か月児:1.5% 1歳6か月児:5.0% 3歳児:7.0%	3~6か月児:13.6% 1歳6か月児:8.8% 3歳児:10.1% *修正 3~6か月
指標8	3	乳幼児健康診査の満足度(★)	「とても満足している」 「満足している」 1歳6か月児:78.5% 3歳児:80.8%	1歳6か月児:80.0% 3歳児:83.0%	アンケート暫定値
指標9	1②	仕上げ磨きをする親の割合	1歳6か月児:69.6% 3歳児:96.3%	1歳6か月児:85.0% 3歳児:100%	1歳6か月児:72.1% 3歳児:97.6%
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3~6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3~6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6%
指標12	3	地域の人からの声かけ状況(★)	3~6か月児:77.7% 1歳6か月児:88.8% 3歳児:83.3%	3~6か月児:84.0% 1歳6か月児:90.0% 3歳児:88.0%	アンケート暫定値
指標18	1①	積極的に育児をしている父親の割合	「よくやっている」 3~6か月児:47.1%	3~6か月:50.0%	「よくやっている」 3・4か月児:58.4%
指標19	2	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	3~6か月児:59.3% (平成26年度) 1歳6か月児:81.1% 3歳児:80.6%	3~6か月児:72.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:88.0%	アンケート暫定値
指標20	1②	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	(平成26年度) 56.9%	63.0%	3歳児:59.5%
指標21	2	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	「よく行く」「たまに行く」 3~6か月児:40.8% 1歳6か月児:48.4% 3歳児:37.3%	3~6か月児:45.0% 1歳6か月児:50.0% 3歳児:43.0%	アンケート暫定値
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3~4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3~4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標25	1②	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	3~4か月児:88.3% 1歳6か月児:89.3% 3歳児:84.6%	3~4か月児:90.0% 1歳6か月児:90.0% 3歳児:90.0%	3・4か月児:85.4% 1歳6か月児:97.8% 3歳児:87.0%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3~6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3~6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」 「時々感じる」 3・4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8% 3歳児:35.4%
指標全体の評価		<p>改善割合 56.3%</p> <p>1①: 2/16</p> <p>1②: 7/16</p> <p>2: 5/16</p> <p>3: 2/16</p> 			
備考					

事業名【●子育て支援事業(母と子のつどい)】

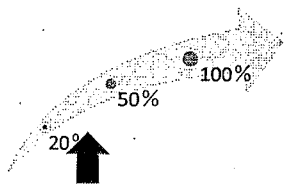
基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち				
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援				
基本施策	1(1)③地域ぐるみの子育て支援の充実				
担当課	地域保健課				
関係課	子育て支援課				
事業目的	・若い世代が安心して生み育てられ、こども達の心と身体を健やかに育むことができるように互いに支えあう力を地域ぐるみで育てる。誰もが安心していきいきと暮らせるように心と身体づくりのための集いを地域ぐるみで取り組む。				
事業目標	・親子の触れ合いの場づくりを通じて育児の孤立化を防ぎ、悩みを共有し児の健やかな成長を促すことができる。				
事業対象者	・3か月～1歳6か月児とその保護者(母と子のつどい)その他地域の実情に応じた企画運営するため全世代を対象				
具体的な事業実施内容	・3か月～1歳6か月児とその保護者(母と子のつどい)から小・中学校でのいのちの授業への参画、その他地域の実情に応じた活動での参加くを地域の実情に応じて企画運営				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	-	-	-	85%
	実績	-	-	-	76%
参加者の満足度「柏市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書」より					
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母と子のつどいへの運営主体は、「柏市民健康づくり推進員連絡協議会」となり、市民協働(地域活動の観点から市民主体の活動)へとシフトした。</li> <li>・参加者の満足度はほぼ満足しているが60%、大変満足しているが16%で合わせて76%となっている。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民主体活動運営として、母と子のつどいは運営されてはいるが、当課との共催事業として、また、非常勤特別職としての運営責任のある体制づくりは支援を引き続きする必要がある。</li> </ul>				
後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	・地域の実情や地域診断結果に基づき、活動内容や実施回数を健康づくり推進員で協議				
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値

指標4	1②	育児期間中の両親の喫煙率(母)	3~6か月児:4.6% 1歳6か月児:6.5% 3歳児:9.7%	3~6か月児:0% 1歳6か月児:0% 3歳児:0%	3~4か月児:0.8% 1歳6か月児:5.1% 3歳児:6.3% 合計:4.1%
指標5	1②	育児期間中の両親の喫煙率(父)	3~6か月:32.0%	3~6か月:15.0%	3~4か月児:23.9%
指標9	1②	仕上げ磨きをする親の割合	1歳6か月児:69.6% 3歳児:96.3%	1歳6か月児:85.0% 3歳児:100%	1歳6か月児:72.1% 3歳児:97.6%
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3~6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3~6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3~4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6% 合計:93.6%
指標12	3	地域の人からの声かけ状況(★)	3~6か月児:77.7% 1歳6か月児:88.8% 3歳児:83.3%	3~6か月児:84.0% 1歳6か月児:90.0% 3歳児:88.0%	アンケート暫定値
指標18	1①	積極的に育児をしている父親の割合	「よくやっている」 3~6か月児:47.1%	3~6か月:50.0%	「よくやっている」 3~4か月児:58.4%
指標19	2	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	3~6か月児:59.3% (平成26年度) 1歳6か月児:81.1% 3歳児:80.6%	3~6か月児:72.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:88.0%	参考値 3歳児:86.0%
指標20	1②	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	(平成26年度) 56.9%	63.0%	3歳児:59.5%
指標21	2	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	「よく行く」「たまに行く」 3~6か月児:40.8% 1歳6か月児:48.4% 3歳児:37.3%	3~6か月児:45.0% 1歳6か月児:50.0% 3歳児:43.0%	アンケート暫定値
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3~4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3~4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3~4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標25	1②	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	3~4か月児:88.3% 1歳6か月児:89.3% 3歳児:84.6%	3~4か月児:90.0% 1歳6か月児:90.0% 3歳児:90.0%	3~4か月児:85.4% 1歳6か月児:97.8% 3歳児:87.0%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3~6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3~6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」 「時々感じる」 3~4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8% 3歳児:35.4%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 61.5%</b></p> <p>1①: 1/13</p> <p>1②: 7/13</p> <p>2: 4/13</p> <p>3: 1/13</p> </div> 				
備考					



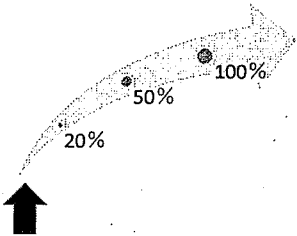
事業名【●柏市民健康づくり推進員活動】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち				
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援				
基本施策	1(1)③地域ぐるみの子育て支援の充実				
担当課	地域保健課				
関係課					
事業目的	・若い世代が安心して生み育てられ、子ども達の心と身体を健やかに育むことができるように互いに支えあう力を地域ぐるみで育てる。誰もが安心していきいきと暮らせるように心と身体づくりのための集いを地域ぐるみで取り組む。				
事業目標	・親子の触れ合いの場づくりを通じて育児の孤立化を防ぎ、悩みを共有し児の健やかな成長を促すことができる。				
事業対象者	・3か月～1歳6か月児とその保護者(母と子のつどい)その他地域の実情に応じた企画運営するため全世代を対象				
具体的な事業実施内容	・3か月～1歳6か月児とその保護者(母と子のつどい)から小・中学校でのいのちの授業への参画, その他地域の実情に応じた活動での参加くを地域の実情に応じて企画運営				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	-	-	-	85%
	実績	-	-	-	76%
参加者の満足度「柏市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書」より					
成果	・母と子のつどいこの運営主体は、「柏市民健康づくり推進員連絡協議会」となり、市民協働(地域活動の観点から市民主体の活動)へとシフトした。 ・参加者の満足度はほぼ満足しているが60%, 大変満足しているが16%で合わせて76%となっている。				
課題	・市民主体活動運営として、母と子のつどいは運営されてはいるが、当課との共催事業として、また、非常勤特別職としての運営責任のある体制づくりは支援を引き続きする必要がある。				
後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	・地域の実情や地域診断結果に基づき、活動内容や実施回数を健康づくり推進員で協議。				
評価指標の推移					

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3～6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6% 合計:93.6%
指標21	2	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	「よく行く」「たまに行く」 3～6か月児:40.8% 1歳6か月児:48.4% 3歳児:37.3%	3～6か月児:45.0% 1歳6か月児:50.0% 3歳児:43.0%	アンケート暫定値
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 33.3%</b></p> <p>1①: 0/3</p> <p>1②: 1/3</p> <p>2 : 2/3</p> <p>3 : 0/3</p> </div> 				
備考					

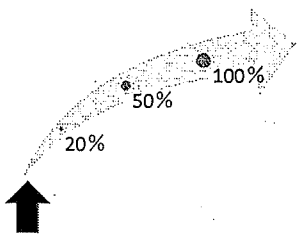
事業名 【●柏市地域防災計画の運用】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援
基本施策	1(1)④災害等における危機管理体制の整備
担当課	地域保健課
関係課	防災安全課
事業目的	災害時要配慮者である妊産婦や乳幼児を柏市地域防災計画の運用により適切に支援する。
事業目標	○関係機関との協働による健康不安に対する相談等支援体制の構築と実施 ○妊産婦、乳幼児等における災害時要援護者の安全確保に対する支援 ○妊産婦及び子育て世代に対する災害時等の支援体制に関する情報提供
事業対象者	妊産婦、乳幼児及びその世帯
具体的な事業実施内容	○妊娠届出時に「あかちゃんとママを守る防災ノート」を配布し、災害に対する備え等を啓発し、事業対象者自身による震災対策の確認と実施を促進する。 ○「災害と母子保健」に関する各種研修に職員が参加し、スキルアップを図る。 ○「防災」をテーマに柏市民健康づくり推進員を対象とした研修を実施し、防災に対する各推進員の意識醸成及び推進員からの発信による地域での啓発に資する。
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備
前期の振り返り	
実績	○防災ノートの配布 ○災害に関する職員研修の実施
成果	防災ノートの配布により、事業対象者自らが災害について考え備えるきっかけ作りができた。柏市地域防災計画では、母子保健の面からも発災後最優先の支援措置は、減災対策・在宅避難等の「自助」であることを啓発できた。
課題	母子保健から見た共助・公助による支援体制の拡充。
後期計画期間5年間の事業実施計画	
実施計画	関係機関や民間企業等との協定締結による母子保健に係る災害支援の体制づくりを図る。防災・減災に係る母子保健、栄養等の啓発を引き続き行う。

評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3～6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6% 合計:93.6%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>指標達成度割合 0%</p> <p>1①: 0/1</p> <p>1②: 0/1</p> <p>2: 1/1</p> <p>3: 0/1</p> </div> 				
備考					

事業名【●柏市保健所震災対応マニュアルに基づく業務推進】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち				
施策分野	1(1)切れ目のない妊産婦・乳幼児の支援				
基本施策	1(1)④災害等における危機管理体制の整備				
担当課	地域保健課				
関係課	総務企画課				
事業目的	災害時要配慮者の妊産婦や乳幼児とその世帯について、柏市保健所震災対応マニュアルに基づき適切に支援する。				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊産婦、乳幼児等における災害時要援護者の安全確保に対する支援</li> <li>○妊産婦及び子育て世代に対する災害時等の支援体制に関する情報提供</li> <li>○災害等発生時・発生後における切れ目のない妊産婦、乳幼児への支援体制の構築</li> </ul>				
事業対象者	妊産婦、乳幼児及びその世帯				
具体的な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○停電等による電子台帳の使用不可時も想定して、要配慮者のデータを紙媒体で台帳化して常備する。</li> <li>○小児慢性特定疾患患者で在宅人工呼吸器の使用者に、予備バッテリーの準備状況、発災時の医療機関等との支援体制を確認する。</li> </ul>				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値				
	実績				
成果	令和元年台風19号の影響により市内の一部で停電が発生したが、その発生地域に在住する在宅人工呼吸器使用者に対して、台帳のデータに基づき速やかに安否確認等ができた。				
課題	大規模な被災に対応する機会や被災地への職員派遣の機会が不足又は限定的であるため、災害支援についての経験と知識が不足している。				
後期計画期間5年間の事業実施計画					

実施計画		常に震災発生を想定し、救護活動や被災地への応援活動等、発災時に必要な知識や手技等に関する研修に参加し、職員のスキルアップを図る。			
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児: 91.2%	3～6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児: 92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6% 合計:93.6%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>指標達成度割合 0%</p> <p>1①: 0/1</p> <p>1②: 0/1</p> <p>2 : 1/1</p> <p>3 : 0/1</p> </div> 				
備考					

事業名【●不妊に悩む方への特定治療支援事業】

基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち				
施策分野	1(2)妊娠期からの児童虐待防止対策				
基本施策	1(2)①リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援				
担当課	地域保健課				
関係課	教育委員会				
事業目的	特定不妊治療(対外受精・顕微受精)が必要になった場合、その高額な費用支出が妊娠出産の妨げとならないように助成を行い、市民の経済的負担の軽減を図る。				
事業目標	夫婦の家族計画の理想を達成できるよう、特定不妊治療助成制度を利用されることで次世代を担う子供の数を得られるように支援すること				
事業対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律上の夫婦であること</li> <li>・本市の住民であること</li> <li>・治療開始時の妻の年齢が43歳未満</li> <li>・夫婦の合計所得が730万円未満</li> <li>・申請回数の上限以下であること</li> </ul>				
具体的な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用助成申請の受付</li> <li>・所得や住民記録を確認し診査</li> <li>・審査結果の通知</li> <li>・費用助成</li> </ul>				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	530	530	530	530
	実績	442	483	487	525
	費用助成延件数				
成果	・当制度が特定不妊治療指定医療機関から対象者に周知され、初回治療からの申請者数も年々増加傾向であり、平成30年度では実績値として、目標達成率99%を達成した。				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊孕性や不妊治療に関する普及啓発の強化</li> <li>・相談ニーズを把握を踏まえ、国や県、近隣中核市の動向を注視し必要に応じて相談体制を検討する。</li> </ul>				

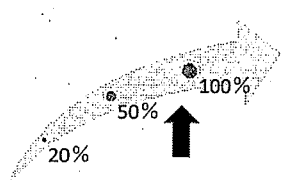
後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定不妊助成指定医療機関への制度改正時の周知案内の徹底。</li> <li>・初回申請者が申請しやすい内容でHPを作成し、情報提供。</li> <li>・思春期教育において、家族計画、卵子・精子にも適齢期があることをわかりやすく伝える。</li> </ul>				
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標14	3	ハイリスク妊婦の割合(★)	(平成26年度) 11.0%	9.0%	18.8%
指標15	3	特定妊婦の割合(★)	(平成26年度) 2.9%	減少	6.9%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; margin-right: 20px;"> <p>指標達成度割合 0%</p> <p>1①: 0/2</p> <p>1②: 0/2</p> <p>2 : 0/2</p> <p>3 : 3/2</p> </div>				
備考					



事業名【●特定妊婦・要支援家庭への支援事業】

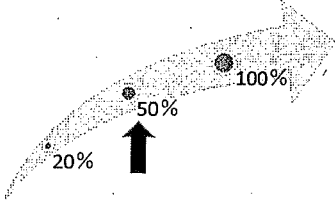
基本目標	1. 安心した妊娠・出産と、心ゆたかに子育てができるまち
施策分野	1(2)妊娠期からの児童虐待防止対策
基本施策	1(2)①リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援
担当課	地域保健課
関係課	こども福祉課
事業目的	妊娠中や子育て中に支援が必要な家庭に他機関と連携して適切な支援をすることにより、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応及び再発防止を行う。
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届出書、医療機関等からの連絡、乳児全戸訪問事業、こんにちは赤ちゃん事業、母と子のつどい、乳幼児健診等の母子保健事業を活用し、支援を要する妊婦や家庭を把握する。</li> <li>・医療、福祉等の関係機関や専門職と連携して適切な支援を行う。(家庭訪問、電話相談、面接相談、各種母子保健事業、関係機関とのケース検討等)</li> </ul>
事業対象者	特定妊婦、ハイリスク妊婦、要支援・要保護児童、その他支援が必要な家庭
具体的な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊娠届出書、医療機関等からの連絡、乳児全戸訪問事業、こんにちは赤ちゃん事業、母と子のつどい、乳幼児健診等の母子保健事業にて支援を要する妊婦や家庭を把握する。</li> <li>○医療、福祉等の関係機関や専門職と連携して適切な支援を行う。(家庭訪問、電話相談、面接相談、各種母子保健事業、関係機関とのケース検討等)</li> <li>○ケース検討会、各ゾーン会議、ゾーン支援リーダー会議、保健所連絡会、進行管理部会にて情報共有、支援方針を確認する。</li> </ul>
総合計画関連計画等における位置づけ	柏市第5次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業4 要支援家庭への個別支援の充実
前期の振り返り	
実績	平成29年10月より、妊娠届出時に専門職による全数面談を実施し、支援が必要な家庭の早期把握・早期介入を実施している。医療機関や関係機関と連携をした支援を実施している。
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊娠子育て相談センター開設に伴い、専門職による妊娠届出時全数面接を実施したことで、支援を要する家庭への早期支援につながった</li> <li>○リスクの高い方への対応となり、予測不可能な発生や支援終了があり、件数等は変動するため、成果の数値化は困難。</li> </ul>
課題	多重課題、困難事例の増加傾向にあり、支援も保健のみではなく福祉分野・病院などとの連携が重要である。児童虐待対応に関わる職員のケースワーク力の育成や他機関と連携できる人材育成が必要である。
後期計画期間5年間の事業実施計画	
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と連携について、定期的なカンファレンスや連絡会に参加し、役割分担について理解を得る。</li> <li>○支援者の進捗状況や支援状況の管理を行う。</li> <li>○職員のスキルアップのための研修やOJT。</li> </ul>

評価指標の推移

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標1	1②	妊娠・出産について満足している者の割合	「とても満足している」「満足している」 91.1%	「とても満足している」「満足している」 93.0%	アンケート暫定値
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児: 96.7% 1歳6か月児: 93.0% 3歳児: 91.2%	3～6か月児: 97.0% 1歳6か月児: 94.0% 3歳児: 92.0%	3・4か月児: 92.5% 1歳6か月児: 92.7% 3歳児: 95.6% 合計: 93.6%
指標12	3	地域の人からの声かけ状況(★)	3～6か月児: 77.7% 1歳6か月児: 88.8% 3歳児: 83.3%	3～6か月児: 84.0% 1歳6か月児: 90.0% 3歳児: 88.0%	アンケート暫定値
指標18	1①	積極的に育児をしている父親の割合	「よくやっている」 3～6か月児: 47.1%	3～6か月: 50.0%	「よくやっている」 3・4か月児: 58.4%
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児: 82.1% 1歳6か月児: 78.2% 3歳児: 70.8%	3～4か月児: 89.0% 1歳6か月児: 88.0% 3歳児: 83.0%	3・4か月児: 86.0% 1歳6か月児: 83.1% 3歳児: 77.4%
指標26	1②	虐待の可能性のある行為をしている親の割合	3～4か月児: 10.0% 1歳6か月児: 36.0% 3歳児: 58.5%	3～4か月児: 5.0% 1歳6か月児: 18.0% 3歳児: 25.0%	3・4か月児: 10.5% 1歳6か月児: 21.4% 3歳児: 42.2%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%
指標全体の評価		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 71.4%</b></p> <p>1①: 1/7</p> <p>1②: 4/7</p> <p>2: 1/7</p> <p>3: 1/7</p> </div> 			
備考					

事業名 【●子育て電話相談(にこにこダイヤルかしわ)】

基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち				
施策分野	2(1)子育て・子育て・親育ちの支援				
基本施策	2(1)①育児・健康等の不安の軽減				
担当課	地域保健課				
関係課					
事業目的	妊娠・出産・育児に対する不安や悩みを解消し、安心して出産、育児に臨むことができる。				
事業目標	専任の保健師、助産師が電話相談を行い、対象者の不安や悩みの軽減に努めるとともに、適切に地域担当保健師へ繋げて切れ目のない支援を行うことができる。				
事業対象者	柏市に住民票のある妊産婦と児及びその家族				
具体的な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊娠・出産・子育てを対象とした切れ目のない育児の支援に向け、子育て世代包括支援センターの事業として、電話による相談支援業務を実施。</li> <li>○専任の保健師、助産師が専用電話による育児相談を実施し、個々の状況に応じた助言・指導を行う。</li> <li>○継続的な支援が必要な相談に対しては地域担当保健師に情報提供し、切れ目のない支援に繋げている。</li> </ul>				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値		1650	1650	1220
	実績	1231	1158	1219	1334
	相談延べ件数				
成果	○相談対象者数が増加しており、対象者への周知が進んでいる状況にある。一方で、継続支援となるケースの割合も増加しており、要支援者からの相談も増加していることが伺える。				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談内容が複雑かつ多岐に亘っているため、相談員のスキルアップが求められる。相談内容を集計し、相談のニーズを把握すると共に、情報発信を行っていく。</li> <li>○匿名での相談がほとんどであるため、継続的支援が困難な場合もあるが、適切に継続支援に繋がられるように努めていく必要がある。</li> </ul>				
後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き妊娠届出時の周知を継続していく必要がある。</li> <li>○相談内容を集計し、相談ニーズに沿った情報をホームページや電子親子手帳で発信していく。</li> <li>○スキルアップに向けて内部研修や講座等の参加を推奨し、最新の母子保健の知識や情報を相談員に伝達していく。</li> <li>○相談対応に苦慮した場面を相談員・職員間でシェアし共有する場を作る。</li> </ul>				

評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標1	1②	妊娠・出産について満足している者の割合	「とても満足している」「満足している」 91.1%	「とても満足している」「満足している」 93.0%	アンケート暫定値
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3～6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6%
指標19	2	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	3～6か月児:59.3% (平成26年度) 1歳6か月児:81.1% 3歳児:80.6%	3～6か月児:72.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:88.0%	参考値 3歳児:86.0%
指標20	1②	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	(平成26年度) 56.9%	63.0%	3歳児:59.5%
指標21	2	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	「よく行く」「たまに行く」 (平成26年度) 3～6か月児:40.8% 1歳6か月児:48.4% 3歳児:37.3%	3～6か月児:45.0% 1歳6か月児:50.0% 3歳児:43.0%	アンケート暫定値
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3～4か月児:88.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3～6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3～6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」「時々感じる」 3～4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 50%</b></p> <p>1①: 0/8</p> <p>1②: 4/8</p> <p>2: 4/8</p> <p>3: 0/8</p> </div> 				
備考					

事業名【電子親子手帳サービス】

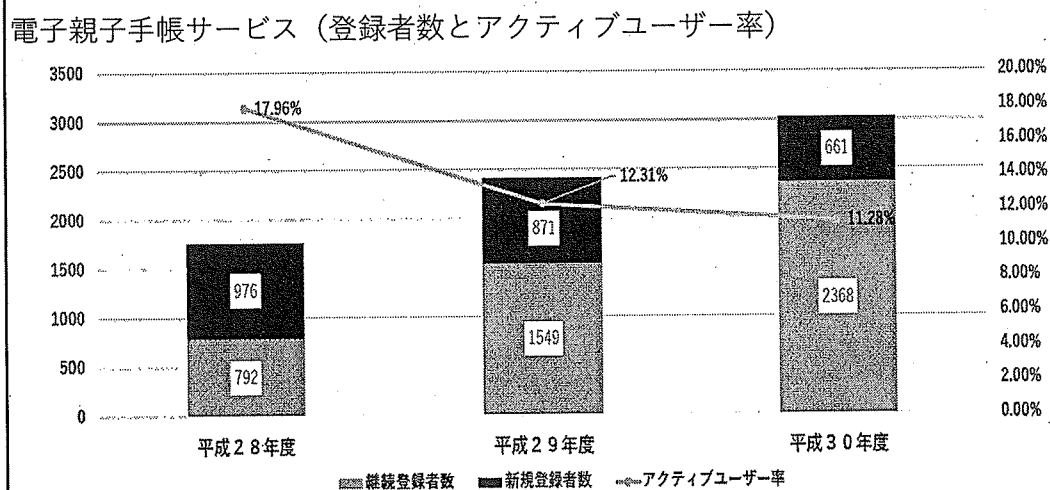
基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち
施策分野	2(1)子育て・子育て・親育ちの支援
基本施策	2(1)①育児・健康等の不安の軽減
担当課	地域保健課
関係課	子育て支援課, こども福祉課, 保育運営課, こども発達センター
事業目的	多様なライフスタイルや子育て家庭を取り巻く環境が変化する中, 子育てに関する正しい情報の適切な取得による知識向上や不安解消, 地域情報や行政ニュースに触れることで地域に馴染み, 安心した子育て環境の整備を図るもの。
事業目標	妊婦及び乳幼児当のいる育児中の家庭を対象とし, 妊娠や育児の生活へ安心・便利・楽しみを提供し, 生活の問題, 不安, 課題解決の一助とすることで, 家族による主体的な妊娠・出産・育児につなげる。
事業対象者	妊婦及び乳幼児のいる家庭
具体的な事業実施内容	従来の母子健康手帳を補完するサービス事業であり, 成長発達や予防接種等の記録や子育てに関する情報提供を行う。
総合計画関連計画等における位置づけ	柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備

前期の振り返り

年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値		20.0	20.0	20.0
実績		17.96	12.31	11.28

アクティブユーザー率

実績



成果

平成25年度に総務省地域ICT街づくり推進事業として, モデル化事業を実施。平成27年度に実証事業を実施し, 平成28年度より正式導入をした。正式導入以降の登録者数は, 増加傾向にある。

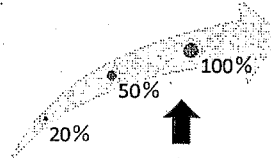
課題

市民ニーズに即したコンテンツの配信と, 新規登録者・アクティブユーザー率の増加

後期計画期間5年間の事業実施計画

実施計画

多様な子育ての情報提供の機会を確保し, 妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及啓発を行う。

評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標1	1①	妊娠・出産について満足している者の割合	「とても満足している」「満足している」 91.1%	「とても満足している」「満足している」 93.0%	アンケート暫定値
指標3	1②	妊娠中の妊婦の喫煙率	3～6か月児:3.76% 1歳6か月児:1.5% 3歳児:2.0% 合計:2.6%	0%	アンケート暫定値
指標4	1②	育児期間中の両親の喫煙率(母)	3～6か月児:4.6% 1歳6か月児:6.5% 3歳児:9.7%	3～6か月児:0% 1歳6か月児:0% 3歳児:0%	3・4か月児:0.8% 1歳6か月児:5.1% 3歳児:6.3% 合計:4.1%
指標5	1②	育児期間中の両親の喫煙率(父)	3～6か月:32.0%	3～6か月:15.0%	3・4か月児:23.9%
指標6	1②	妊娠中の妊婦の飲酒率	2.3%	0%	1.2%
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3～6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6% 合計:93.6%
指標18	1①	積極的に育児をしている父親の割合	「よくやっている」 3～6か月児:47.1%	3～6か月:50.0%	「よくやっている」 3・4か月児:58.4%
指標19	2	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	3～6か月児:59.3% (平成26年度) 1歳6か月児:81.1% 3歳児:80.6%	3～6か月児:72.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:88.0%	参考値 3歳児:86.0%
指標20	1②	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	(平成26年度) 56.9%	63.0%	3歳児:59.5%
指標21	2	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	「よく行く」「たまに行く」 3～6か月児:40.8% 1歳6か月児:48.4% 3歳児:37.3%	3～6か月児:45.0% 1歳6か月児:50.0% 3歳児:43.0%	アンケート暫定値
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;">                     改善割合 72.7%                      1①: 2/11                      1②: 6/11                      2: 3/11                      3: 0/11                 </div> 				
備考					

事業名【●母子保健に関する啓発】

基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち				
施策分野	2(1)子育て・子育て・親育ちの支援				
基本施策	2(1)①育児・健康等の不安の軽減				
担当課	地域保健課				
関係課	子育て支援課, こども福祉課, 保育運営課, こども発達センター				
事業目的	多様なライフスタイルや子育て家庭を取り巻く環境が変化する中, 子育てに関する正しい情報の適切な取得による知識向上や不安解消, 地域情報や行政ニュースに触れることで地域に馴染み, 安心した子育て環境の整備を図るもの。				
事業目標	妊婦及び乳幼児当のいる育児中の家庭を対象とし, 妊娠や育児の生活へ安心・便利・楽しみを提供し, 生活の問題, 不安, 課題解決の一助とすることで, 家族による主体的な妊娠・出産・育児につなげる。				
事業対象者	妊婦及び乳幼児のいる家庭				
具体的な事業実施内容	母子保健に関する普及啓発を母子保健事業や地域・関係機関と連携して実施する。				
総合計画関連計画等における位置づけ	柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備				
前期の振り返り					
実績	令和1年度より啓発ワーキンググループを実施。 目的:各種計画に基づいた効果的な啓発方法の検討 実績:4回/年 ワーキンググループを実施				
成果	より効果的な啓発に向けた課題の共有を行ったことで, 計n津の取り組み状況の可視化, 体系図を作成することができた。				
課題	各種計画に基づいた啓発の実施。啓発の実施内容に応じ関係課との連携。				
後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	多様な子育ての情報提供の機会を確保し, 妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及啓発を行う。				
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標1	1②	妊娠・出産について満足している者の割合	「とても満足している」「満足している」 91.1%	「とても満足している」「満足している」 93.0%	アンケート暫定値
指標3	1②	妊娠中の妊婦の喫煙率	3~6か月児:3.76% 1歳6か月児:1.5% 3歳児:2.0% 合計:2.6%	0%	アンケート暫定値
指標4	1②	育児期間中の両親の喫煙率(母)	3~6か月児:4.6% 1歳6か月児:6.5% 3歳児:9.7%	3~6か月児:0% 1歳6か月児:0% 3歳児:0%	3・4か月児:0.8% 1歳6か月児:5.1% 3歳児:6.3% 合計:4.1%
指標5	1②	育児期間中の両親の喫煙率(父)	3~6か月:32.0%	3~6か月:15.0%	3・4か月児:23.9%
指標6	1②	妊娠中の妊婦の飲酒率	2.3%	0%	1.2%
指標9	1②	仕上げ磨きをする親の割合	1歳6か月児:69.6% 3歳児:96.3%	1歳6か月児:85.0% 3歳児:100%	1歳6か月児:72.1% 3歳児:97.6%
指標10	1②	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3~6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3~6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6% 合計:93.6%
指標16	1①	乳幼児家庭全戸訪問事業での面談率(★)	(平成26年度) 68.6%	80.0%	97.0%
指標17	1①	新生児訪問の実施率(★)	(平成26年度) 51.9%	70.0%	82.4%

指標18	1①	積極的に育児をしている父親の割合	「よくやっている」 3～6か月児:47.1%	3～6か月:50.0%	「よくやっている」 3・4か月児:58.4%
指標19	2	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	3～6か月児:59.3% (平成26年度) 1歳6か月児:81.1% 3歳児:80.6%	3～6か月児:72.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:88.0%	3・4か月児:51.0% 3歳児:86.0%
指標20	1②	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	(平成26年度) 56.9%	63.0%	3歳児:59.5%
指標21	2	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	「よく行く」「たまに行く」 3～6か月児:40.8% 1歳6か月児:48.4% 3歳児:37.3%	3～6か月児:45.0% 1歳6か月児:50.0% 3歳児:43.0%	アンケート暫定値
指標22	1①	若年妊婦による妊娠届出数(届出時20歳未満)(★)	48件/3,551件 (1.35%)	減少 (1%未満)	26件/3,213件 (0.81%)
指標23	3	朝食を子どものみで食べている児の割合	1歳6か月児:8.2% 3歳児:8.2%	1歳6か月児:6.5% 3歳児:6.5%	アンケート暫定値
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標26	1②	虐待の可能性のある行為をしている親の割合	3～4か月児:10.0% 1歳6か月児:36.0% 3歳児:58.5%	3～4か月児:5.0% 1歳6か月児:18.0% 3歳児:25.0%	3・4か月児:10.5% 1歳6か月児:21.4% 3歳児:42.2%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%
指標28	2	妊娠中の食事(三食)の摂取状況(★)	74.5%	80.00%	アンケート暫定値
指標29	2	十代の人工妊娠中絶率	(平成24年度) 3.8(人口千対)	7.5	3.7
指標30	3	十代の性感染症罹患率(HIV抗体検査他性感染症検査結果より)	性器クラミジア・淋菌感染症・尖圭コンジローマ・性器ヘルペス 4.0%	減少	梅毒:1名/21名(4.7%) クラミジア:5名/21名(23.8%)
指標31	1②	小中学生の痩身傾向児(肥満度-20%以下)の割合	(平成25年度) 小学生:1.2% 中学生:2.5% (平成26年度) 小学生:1.6% 中学生:3.0%	小学生:減少 中学生:2.0%	小学生:1.3% 中学生:2.9%
指標32	3	小中学生の肥満傾向児(肥満度+20%以上)の割合	(平成25年度) 小学生:6.7% 中学生:7.5%	小学生:減少 中学生:減少	小学生:7.3% 中学生:7.5%
指標33	3	菌肉に炎症がある十代の割合	小学生:12.3% 中学生:16.5%	小学生:12.0% 中学生:15.0%	小学生:15.2% 中学生:20.7%
指標34	1②	十代の喫煙率	小学6年生:2.0% 中学3年生:3.1%	0%	
指標35	1②	十代の飲酒率	小学6年生:25.1% 中学3年生:23.6%	0%	
指標36	1②	朝食を欠食する小中学生の割合	(平成24年度) 小学5年生:8.5% 中学2年生:10.9%	小学5年生:5.0% 中学2年生:7.0%	小学5年生:6.7% 中学2年生:9.0%
指標37	1②	規則的な生活リズムで生活する児の割合(★)	1歳6か月児:81.4% 3歳児:75.0%	1歳6か月児:79.0% 3歳児:84.0%	アンケート暫定値
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3～6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3～6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」 「時々感じる」 3・4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8% 3歳児:35.4%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 69%</b></p> <p>1①: 4/29</p> <p>1②: 16/29</p> <p>2: 5/29</p> <p>3: 4/29</p> </div> 				
備考					



事業名【●BPプログラム】

基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち				
施策分野	2(1)子育て・子育て・親育ちの支援				
基本施策	2(1)③子育て・子育て・親育ちに関する啓発・環境整備				
担当課	子育て支援課				
関係課					
事業目的	第一子の子育てがはじまったばかりの母親が、親子で学びと交流の場に参加し、親子同士が知り合ったり、子育て関連情報を得たりできるよう支援する。				
事業目標	初めて子育てしている母親が孤立することなく、少し先の子育ての知識を持ちながら、親子の絆を深めながら子育てを送れるようBPプログラムを実施し、赤ちゃんの育ちや親の役割などを学びながら、参加者同士や親子同士の交流の機会を提供する。				
事業対象者	生後2ヶ月から5ヶ月までの第一子と母親				
具体的な事業実施内容	4回連続講座(1週間毎に1回開催)のBPプログラムを実施。 講座は、①同じ立場同士で子育てについて話し合う ②少し先を見通した子育ての知識を学習する ③親子の絆を深めることが子どもの心の安定につながることを理解することで、虐待や産後うつ予防なども含め、子どもの健やかな成長と子育ての支援を目指す。				
総合計画関連計画等における位置	○柏市第五次総合計画書 施策1-3 子どもの育ちと子育てを支える環境の充実 取組1. 子育て・子育て・親育ちのための地域づくり 事業1. 親子で交流できる場の充実				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値		90組	120組	136組
	実績		79組	108組	76組
		(ファシリテーター養成)	(計6回開催)	(年8回開催)	(年8回開催)
成果	平成28年度から新規プログラムとして導入し、毎年実施した。 参加後のアンケートでは、「同じような状況にある人と知り合えた」「安心して子育てができるようになった」など満足度の高い意見が多い結果となっている。 また、初めて外出することで、子育てに関する情報を得る機会にもなっている。				
課題	プログラムが子育てが始まったばかりの第一子を支援するためのものであることから、常に入れ替わっていく対象者への周知が課題となっている。				
後期計画期間5年間の事業実施計画					

実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き地域保健課等の協力を得ながら、BPプログラム開催情報の周知を継続的に行う。</li> <li>プログラムの質が維持できるよう、プログラム開発団体と連携しながら進行などの改善を図る。</li> </ul>
------	--

評価指標の推移

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標16	1①	乳幼児家庭全戸訪問事業での面談率(★)	(平成26年度) 68.6%	80.0%	97.0%
指標17	1①	新生児訪問の実施率(★)	(平成26年度) 51.9%	70.0%	82.4%
指標26	1②	虐待の可能性のある行為をしている親の割合	3～4か月児:10.0% 1歳6か月児:36.0% 3歳児: 58.5%	3～4か月児:5.0% 1歳6か月児:18.0% 3歳児: 25.0%	3～4か月児:10.5% 1歳6か月児:21.4% 3歳児:42.2%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%

指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p><b>改善割合 100%</b></p> <p>1①: 2/4</p> <p>1②: 2/4</p> <p>2 : 0/4</p> <p>3 : 0/4</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> </div>
---------	---

備考	
----	--

事業名【●思春期保健事業】

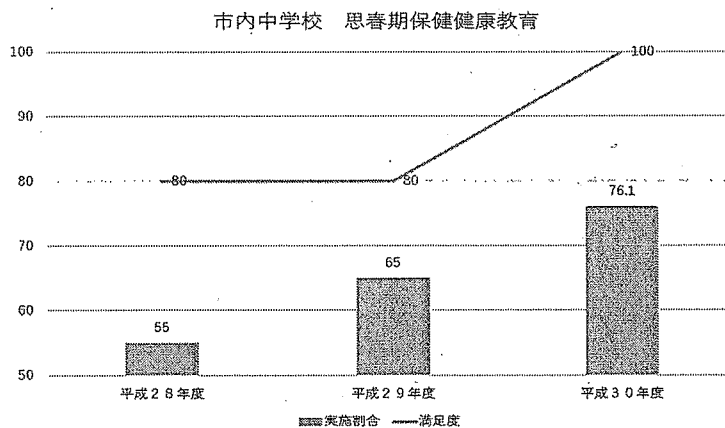
基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち
施策分野	2(2)健やかな体と心をつくる学びの推進
基本施策	2(2)①心身の健康づくりの基本に関する教育の推進
担当課	地域保健課
関係課	保健予防課, 学校保健課, 児童生徒課
事業目的	学校・家庭・地域・医療・地域保健が連携し, 子ども達が自ら心身の健康に関心を持ち, 年齢や成長に応じた責任ある行動をとることができる。
事業目標	学校・家庭・地域・医療が連携し, 児童・生徒が「生・性」に関する正しい知識を持ち, 健康に育つことができる。 自己の「生・性」を肯定的に捉える事ができ, 年齢や成長に応じた行動をとることができる。
事業対象者	市内小学生・中学生・高校生
具体的な事業実施内容	思春期保健健康教育: 児童及び思春期世代が, 自らの健康に関心を持ち, 健康の大切さを実感するとともに, 健康の維持・向上に取り組めるよう, 柏市思春期保健事業の一環として, 関係機関との連携による健康教育の推進と, 正しい知識や適切な情報を提供するもの。 思春期保健関係者会議: 思春期保健に関わる関係機関が子供たちを取り巻く課題やお互いの支援状況を共有し, 思春期の充実に向けた連携支援を目指す。
総合計画関連計画等における位置づけ	柏市第五次総合計画書 施策1-1 未来を担う生きる力を備えた子どもの育成 取組3 健やかな体をつくる教育の推進 事業3 いのちの教育の推進

前期の振り返り

年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値		56.0	55.0	58.0	60.0
実績		54.0	55.0	65.0	76.1

思春期教育を実施している学校の割合

実績



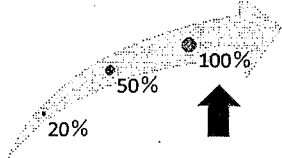
○思春期保健関係者会議 (平成20年度より実施。)  
年2回実施。(平成28~30年度)

成果	思春期保健健康教育: 市内中学校で思春期保健健康教育を実施している割合の増加。 思春期保健関係者会議: 平成20年度より継続実施。平成30年度より, 思春期保健健康教育の推進のため, 学校の実状に沿った支援について検討・取り組みを開始。
課題	思春期保健健康教育: 各学校における思春期保健の課題やニーズを把握し, より効果的で現場に合った内容となるよう改善する 思春期保健関係者会議: 会議の目的・目標を各関係機関と共有し, 思春期保健の課題解決に向けた機会となるよう効果的な会議運営の実施。

後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	思春期保健の推進に向けて、学校現場をはじめ関係機関と連携した思春期保健健康教育の推進及び他機関との連携を強化する取り組みを実施する。				
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標22	1①	若年妊婦による妊娠届出数(届出時20歳未満)(★)	48件/3,551件(1.35%)	減少(1%未満)	26件/3,213件(0.81%)
指標23	3	朝食を子どものみで食べている児の割合	1歳6か月児:8.2% 3歳児:8.2%	1歳6か月児:6.5% 3歳児:6.5%	アンケート暫定値
指標28	2	妊娠中の食事(三食)の摂取状況(★)	74.5%	80.00%	アンケート暫定値
指標29	2	十代の人工妊娠中絶率	(平成24年度) 3.8(人口千対)	7.5	3.7
指標30	3	十代の性感染症罹患率	性器クラミジア・淋菌感染症・尖圭コンジローマ・性器ヘルペス 4.0%	減少	梅毒:1名/21名(4.7%) クラミジア:5名/21名(23.8%)
指標31	1②	小中学生の痩身傾向児(肥満度-20%以下)の割合	(平成25年度) 小学生:1.2% 中学生:2.5% (平成26年度) 小学生:1.6% 中学生:3.0%	小学生:減少 中学生:2.0%	小学生:1.3% 中学生:2.9%
指標32	3	小中学生の肥満傾向児(肥満度+20%以上)の割合	(平成25年度) 小学生:6.7% 中学生:7.5%	小学生:減少 中学生:減少	小学生:7.3% 中学生:7.5%
指標33	3	歯肉に炎症がある十代の割合	小学生:12.3% 中学生:16.5%	小学生:12.0% 中学生:15.0%	小学生:15.2% 中学生:20.7%
指標34	1②	十代の喫煙率	小学6年生:2.0% 中学3年生:3.1%	0%	
指標35	1②	十代の飲酒率	小学6年生:25.1% 中学3年生:23.6%	0%	
指標36	1②	朝食を欠食する小中学生の割合	(平成24年度) 小学5年生:8.5% 中学2年生:10.9%	小学5年生:5.0% 中学2年生:7.0%	小学5年生:6.7% 中学2年生:9.0%
指標37	1②	規則的な生活リズムで生活する児の割合(★)	1歳6か月児:81.4% 3歳児:75.0%	1歳6か月児:79.0% 3歳児:84.0%	アンケート暫定値
指標全体の評価		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 50%</b></p> <p>1①: 1/12</p> <p>1②: 5/12</p> <p>2: 2/12</p> <p>3: 4/12</p> </div> 			
備考					

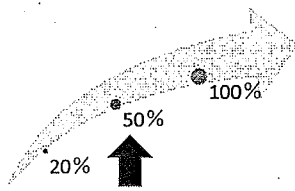
事業名 【●ペアレント・プログラム】

基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち				
施策分野	2(1)子育て・子育て・親育ちの支援				
基本施策	2(1)③子育て・子育て・親育ちに関する啓発・環境整備				
担当課	子育て支援課				
関係課					
事業目的	子育ての心配や悩みを抱える保護者が子どもの行動や個性を理解し、子どもとの関わり方を考え、工夫することで、子育ての不安や悩みの軽減を目指す。				
事業目標	子育ての心配や悩みを抱えている保護者が、保護者同士で悩みを共有したり、日常の子育てに役立つ子どもの行動やほめ方などを考えたり実践する機会を提供する。				
事業対象者	3～6歳の子どもの保護者				
具体的な事業実施内容	6回連続講座(1～2週間に1回開催)のペアレントプログラムを実施。講座は、 ①自分や子どもの行動を振り返り、参加者同士で共有する ②子どもの行動の見方を工夫し、行動の特徴やほめるポイントのを見つけることで、児童センターのスタッフと参加者と一緒に、子育て生活で実践することができる子育てのヒントを見つけていく。				
総合計画関連計画等における位置	柏市第5次総合計画書 施策1-3 子どもの育ちと子育てを支える環境の充実 取組1子育て・子育て・親育ちのための地域づくり 事業1親子で交流できる場の充実				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値		16人	28人	28人
	実績		16人	24人	23人
		(ファシリテーター養成)	(年2回実施)	(年3回実施)	(年3回実施)
成果	計画期間にプログラムを行えるファシリテーターを養成し、平成28年度から新規の親支援プログラムを託児付きで開始した。 講座受講後アンケートでは、子どもや自分の子育てに対する気持ちが前向きに変化する傾向となっている。				
課題	6回連続の講座であることから、子どもや自身の体調不良などで欠席になった場合のフォローが難しい場合がある。				
実施計画	プログラム実施を継続する。毎回、受講者の様子などを職員同士で共有しながら、個々の状況に応じたフォローを行う。 対象が年々入れ替わっていくことから、継続的に周知を行う。				
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値

指標16	1①	乳幼児家庭全戸訪問事業での面談率(★)	(平成26年度) 68.6%	80.0%	97.0%
指標17	1①	新生児訪問の実施率(★)	(平成26年度) 51.9%	70.0%	82.4%
指標26	1②	虐待の可能性のある行為をしている親の割合	3~4か月児:10.0% 1歳6か月児:36.0% 3歳児: 58.5%	3~4か月児:5.0% 1歳6か月児:18.0% 3歳児: 25.0%	3~4か月児:10.5% 1歳6か月児: 21.4%
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 100%</b></p> <p>1①: 2/4</p> <p>1②: 2/4</p> <p>2 : 0/4</p> <p>3 : 0/4</p> </div> 				
備考	対象が3~6歳児の保護者であるため、指標16, 17, 27は関連しないため指標の見直しが必要。				

事業名【●地域ウォークの推進】

基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち				
施策分野	2(2)健やかな体と心をつくる学びの推進				
基本施策	2(2)②健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備				
担当課	健康増進課				
関係課					
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動習慣者の増加</li> <li>・運動習慣の定着により、市民の健康寿命の延伸・市民の生活習慣病の発症予防及び重症化予防につながる。</li> </ul>				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活における平均歩行時間の増加</li> <li>・1週間の平均運動頻度(1日30分以上の運動)の増加</li> </ul>				
事業対象者	主として20から50代の働く世代				
具体的な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングを始めるきっかけづくりやウォーキング継続のための事業展開</li> <li>・ウォーキングパスポートの発行</li> <li>・関係機関と連携したウォーキングに関する情報提供</li> <li>・気軽に取り組める運動の啓発</li> <li>・地域でのウォーキング講座の開催</li> </ul> (手賀沼ふれあいウォーク(年1回)の開催※平成30年度で終了)				
総合計画関連計画等における位置	柏市第五次総合計画 施策2-1 健康寿命の延伸 取組1 生活習慣病の発症及び重症化予防の推進 事業2運動習慣に関する啓発・環境整備				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	650	350	350	2300
	実績	265	130	2289	2036
		ウォーキングパスポート発行数	ウォーキングパスポート発行数	ウォーキングパスポート発行数	ウォーキングパスポート発行数
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングパスポートをの配布方法を変更し、近隣センター等に設置したことで多くの市民が入手することができ、運動をするきっかけの一助となった。</li> <li>・市のホームページを整備し、関係部署や関係機関と連携したウォーキングコース等の情報発信を行った。</li> </ul>				
課題	・働く世代における運動習慣の定着に対する意識づけやきっかけづくり。				
後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動習慣の定着を目指し、関係部署や関係機関と連携したウォーキングコース等の情報発信を行う。</li> <li>・運動習慣者の増加を目指し、階段ウォーク等、日常生活の中で取り組むことのできる手軽な運動やストレッチ等の情報提供を行う。</li> <li>・運動に取り組みやすい仕組みづくりとして試験的に地域ウォークの開催や環境整備を重点的に行う。</li> </ul>				

評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標27	1②	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	96.5%	100%	97.4%
指標32	3	小中学生の肥満傾向児(肥満度+20%以上)の割合	(平成25年度) 小学生:6.7% 中学生:7.5%	小学生:減少 中学生:減少	小学生:7.3% 中学生:7.5%
指標全体の評価		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 50%</b></p> <p>1①: 0/2</p> <p>1②: 1/2</p> <p>2 : 0/2</p> <p>3 : 1/2</p> </div> 			
備考		27 計画策定当時の指標が不適切 32 事業対象者と指標が不適合			



事業名【●健康教育】

基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち
施策分野	2(2)健やかな体と心をつくる学びの推進
基本施策	2(2)②健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備
担当課	健康増進課
関係課	
事業目的	・市民が食生活、運動、休養、飲酒、喫煙、歯の健康の保持、その他の生活習慣に関する正しい知識を持ち、主体的な健康づくりに取り組むことで、生活習慣病の発症、重症化を予防することができる ・がん予防の正しい知識をもち、がん検診を適切に受けることができる
事業目標	・健康増進計画の基本目標である「健康寿命の延伸」、「生活習慣病の発症予防及び重症化予防」に繋がる正しい知識の普及 ・がん予防やがん検診の正しい知識の普及によるがん検診新規登録者数及び受診者数の増加
事業対象者	市内在住の一般市民
具体的な事業実施内容	・出前講座の実施(生活習慣病予防、がん予防、がん検診の内容や受け方等)
総合計画関連計画等における位置づけ	柏市第五次総合計画 施策2-1 健康寿命の延伸 取組1 生活習慣病の発症及び重症化予防の推進 事業1・2・3・4・5・7

前期の振り返り

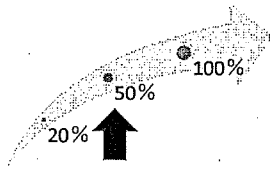
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	—	2000	2000	300
	実績	—	2226	2169	295
		健康教育の参加者数	健康教育の参加者数	健康教育の参加者数	健康教育の参加者数
平成29年までの健康教育の参加者数は母子や高齢者も含んだ数値である。組織改編に伴い、平成30年からは働く世代やがん検診、がん予防に関する講座を希望する者に対する健康教育を実施。					
成果	若い世代や働く世代を主なターゲットとし、がん予防、生活習慣病予防に関する健康教育を実施。参加した市民の理解度は高く、健康維持・増進の一助となった。				
課題	若い世代や働く世代に向けた、効果的な健康教育の実施。				

後期計画期間5年間の事業実施計画

実施計画	若い世代や働く世代を主なターゲットとし、がん予防、生活習慣病予防に関する健康教育を実施し、市民の健康維持増進につなげる。
------	--

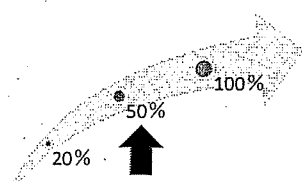
評価指標の推移

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標22	1①	若年妊婦による妊娠届出数	48件/3,551件 (1.35%)	減少 (1%未満)	26件/3,213件 (0.81%)
指標23	3	朝食を子どものみで食べている児の割合	1歳6か月児:8.2% 3歳児:8.2%	1歳6か月児:6.5% 3歳児:6.5%	アンケート暫定値
指標28	2	妊娠中の食事(三食)の摂取状況(★)	74.5%	80.00%	アンケート暫定値
指標29	2	十代の人工妊娠中絶率	(平成24年度) 3.8(人口千対)	7.5	3.7

指標30	3	十代の性感染症罹患率 (HIV抗体検査他性感染症 検査結果より)	性器クラミジア・淋 菌感染症・尖圭コン ジローマ・性器ヘル ペス	減少	梅毒:1名/21名 (4.7%) クラミジア:5名/21 名(23.8%)
指標31	1②	小中学生の痩身傾向児 (肥満度-20%以下)の割 合	(平成25年度) 小学生:1.2% 中学生:2.5% (平成26年度) 小学生:1.6% 中学生:3.0%	小学生:減少 中学生:2.0%	小学生:1.3% 中学生:2.9%
指標32	3	小中学生の肥満傾向児 (肥満度+20%以上)の割 合	(平成25年度) 小学生:6.7% 中学生:7.5%	小学生:減少 中学生:減少	小学生:7.3% 中学生:7.5%
指標33	3	歯肉に炎症がある十代の 割合	小学生:12.3% 中学生:16.5%	小学生:12.0% 中学生:15.0%	小学生:15.2% 中学生:20.7%
指標34	1②	十代の喫煙率	小学6年生:2.0% 中学3年生:3.1%	0%	アンケート暫定値
指標35	1②	十代の飲酒率	小学6年生:25.1% 中学3年生:23.6%	0%	アンケート暫定値
指標36	1②	朝食を欠食する小中学生 の割合	(平成24年度) 小学5年生:8.5% 中学2年生:10.9%	小学5年生:5.0% 中学2年生:7.0%	小学5年生:6.7% 中学2年生:9.0%
指標37	1②	規則的な生活リズムで生 活する児の割合(★)	1歳6か月児: 81.4% 3歳児:75.0%	1歳6か月児: 79.0% 3歳児:84.0%	アンケート暫定値
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 50%</b></p> <p>1①: 1/12</p> <p>1②: 5/12</p> <p>2 : 2/12</p> <p>3 : 4/12</p> </div> 				
備考					

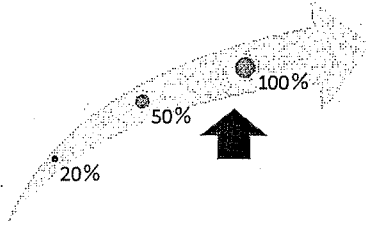
事業名【●母子歯科保健事業】

基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち				
施策分野	2(2)健やかな体と心をつくる学びの推進				
基本施策	2(2)②健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備				
担当課	地域保健課				
関係課	保育運営課		学校保健課		
事業目的	生涯を通じて自分の口で食べることができ、その人らしい生活ができる乳幼児期から、歯・口腔の健康づくりに主体的に取り組み健康を維持する				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むし歯のない3歳児の割合:90%</li> <li>・仕上げみがきをする親の割合(1.6健診):100%, (3健):100%</li> <li>・子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合(1.6健診):20%, (3健):65%</li> </ul>				
事業対象者	妊婦, 乳幼児, 児童, 生徒, 各保護者				
具体的な事業実施内容	<p>①歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及 ②定期的な歯科健康診査の受診勧奨 ③歯・口腔の健康づくりのための環境整備について各ライフステージにおいて実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ママパパ学級・8か月児相談・すこやかプチルーム(歯科相談)</li> <li>・幼児健康診査(1歳6か月児健康診査, 3歳児健康診査)</li> <li>・2歳の歯☆ピカランド・フッ化物歯面塗布事業</li> <li>・依頼の健康教育(幼稚園・保育園)歯みがき指導</li> <li>・小学1年生歯みがき指導</li> <li>・依頼の健康教育(小学校他学年, 中学校)歯みがき指導</li> <li>・依頼の健康教育(障害児・者)歯みがき指導</li> </ul>				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業3 乳幼児の府小屋かな成長支援				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度 (計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	85%	85%	85%	85%
	実績	80.5%	83.7%	85.4%	86.6%
	3歳児でむし歯がない割合				
成果	むし歯のない3歳児の割合は、年々減少しており目的達成に近づいている				
課題	全年齢においてむし歯をもつ児は減少しているが、年齢を追うごとに罹患者数が増加する傾向はかわらない。よって、各事業や依頼の健康教育にて生涯を通じたむし歯予防の視点で継続した啓発を行っている。				
後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	仕上げみがきの継続や家族ぐるみで定期健診を受ける(かかりつけ歯科医師を持つ)等の、歯・口腔の健康づくりに主体的に取り組み健康を維持できるよう各ステージにおいて継続して啓発する				

評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標2	1①	むし歯のない3歳児の割合	82.7%	85.0%	86.9%
指標9	1②	仕上げ磨きをする親の割合	1歳6か月児:69.6% 3歳児:96.3%	1歳6か月児:85.0% 3歳児:100%	1歳6か月児: 72.1%
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3~6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3~6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3~4か月児:92.5% 1歳6か月児: 92.7%
指標18	1①	積極的に育児をしている父親の割合	3~6か月児:47.1%	3~6か月:50.0%	3~4か月児:58.4%
指標19	2	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	3~6か月児:59.3% (平成26年度) 1歳6か月児:81.1% 3歳児:80.6%	3~6か月児:72.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:88.0%	アンケート暫定値
指標20	1②	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	(平成26年度) 56.9%	63.0%	59.5%
指標21	2	地域のつどい等に参加している者の割合(★)	「よく行く」「たまに行く」 3~6か月児:40.8% 1歳6か月児:48.4%	3~6か月児:45.0% 1歳6か月児:50.0% 3歳児:43.0%	アンケート暫定値
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3~4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3~4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3~4か月児:86.0% 1歳6か月児: 83.1% 3歳児:77.4%
指標33	3	歯肉に炎症がある十代の割合	小学生:12.3% 中学生:16.5%	小学生 12.0% 中学生 15.0%	小学生:15.2% 中学生:20.7%
指標全体の評価		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 55.6%</b></p> <p>1①: 2/9</p> <p>1②: 3/9</p> <p>2 : 3/9</p> <p>3 : 1/9</p> </div> 			
備考					

事業名【●成人歯科保健事業(かしわ歯科相談室)】

基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち				
施策分野	2(2)健やかな体と心をつくる学びの推進				
基本施策	2(2)②健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備				
担当課	健康増進課				
関係課	地域保健課				
事業目的	健康増進法第17条に基づき、市民が安心していきいきと暮らせるところとからだづくりができるように個別の相談に応じ、必要な指導・助言を行い、生活習慣づくりから口腔の健康づくりへの展開が家庭でもできることを目的とする				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯や口に関する不安や悩みの解消</li> <li>・かかりつけ歯科医に推進及び定期歯科健診の定着</li> </ul>				
事業対象者	市内在住の一般市民(年齢制限は設けない)				
具体的な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師による相談及び口腔内観察</li> <li>・歯科衛生士による歯みがき指導</li> <li>・医療機関への紹介</li> </ul>				
総合計画関連計画等における位置づけ	柏市第五次総合計画 施策2-1 健康寿命の延伸 取組1 生活習慣病の発症及び重症化予防の推進 事業5 歯・口腔の健康に関する啓発・環境整備				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月
	実績	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月
	かしわ歯科相談室実施回数				
成果	地域にある歯科医院では限られた時間で診療や相談を行っているため、そこで解消できない不安や悩みを当事業で解消することができていることや、歯科医院への通院に迷っている相談者に対しては受診の必要性を具体的に伝えることにより、かかりつけ歯科医の推進及び定期的な受診につながっている。				
課題	不定愁訴により来所する相談者に対して適切な相談先を提供できるよう、関係機関及び関係部署との連携が必要である。				
後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	・歯や口に関する専門家による相談事業の継続実施				

評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標2	1①	むし歯のない3歳児の割合	82.7%	85.00%	86.9%
指標9	1②	仕上げ磨きをする親の割合	1歳6か月児:69.6% 3歳児:96.3%	1歳6か月児:85.0% 3歳児:100%	1歳6か月児:72.1% 3歳児:97.6%
指標20	1②	子どものかかりつけ歯科医師を持つ親の割合	(平成26年度) 56.9%	63.0%	59.5%
指標33	3	歯肉に炎症がある十代の割合	小学生:12.3% 中学生:16.5%	小学生:12.0% 中学生:15.0%	小学生:15.2% 中学生:20.7%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 75%</b></p> <p>1①: 1/4</p> <p>1②: 2/4</p> <p>2 : 0/4</p> <p>3 : 1/4</p> </div> 				
備考					

事業名【●母子保健食育(離乳食教室, 食育関係)】

基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち
施策分野	2(2)健やかな体と心をつくる学びの推進
基本施策	2(2)②健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備
担当課	地域保健課
関係課	
事業目的	生涯にわたって健康な生活を送るため、乳幼児期に健全な食生活を確立することの大切さを理解し、家族で望ましい食生活を実践することができるよう支援する。
事業目標	母子保健事業を通じて健康的な食生活を送るための相談及び食に関する正しい知識の普及啓発を行う。
事業対象者	乳幼児と保護者
具体的な事業実施内容	・柏市離乳食教室(講話, 離乳食づくりの実演, 栄養相談) ・8か月児相談, 2歳の歯☆ピカランド, 幼児健診(講話, 栄養相談)
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業3 乳幼児の健やかな成長支援

実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	40	60	70	40
	実績	31	69	74	42
					後期離乳食教室が8か月児相談事業に統合されたので組数が減少した
離乳食教室参加組数(月平均)					

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期離乳食教室の開始により、離乳食初期だけでなく、月齢に合わせた相談支援を行うことができた。平成30年度からは、後期離乳食教室を8か月児相談に統合したことで、他職種と連携した支援を実施。</li> <li>・幼児健診では、肥満や欠食に対し指導や助言を行う他、保護者の悩みに対して相談を実施。相談件数は毎年増加。</li> </ul>
----	--

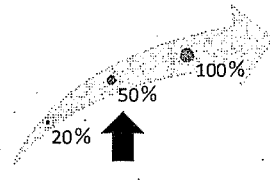
課題	子どもの成長、発達の状況や、多様な暮らしに配慮した食支援の充実。
----	----------------------------------

後期計画期間5年間の事業実施計画

実施計画	母子保健事業等の様々な機会をとらえ、健全な食生活を確立するための正しい知識の普及・啓発を実施する。
------	---

評価指標の推移

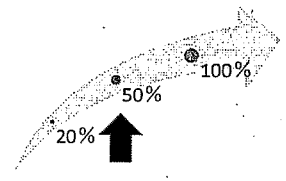
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標23	3	朝食を子どものみで食べている児の割合	1歳6か月児:8.2% 3歳児:8.2%	1歳6か月児:6.5% 3歳児:6.5%	アンケート暫定値
指標28	2	妊娠中の食事(三食)の摂取状況(★)	74.5%	80.00%	アンケート暫定値

指標31	1②	小中学生の痩身傾向児 (肥満度-20%以下) の割合	(平成25年度) 小学生:1.2% 中学生:2.5% (平成26年度) 小学生:1.6% 中学生:3.0%	小学生:減少 中学生:2.0%	小学生:1.3% 中学生:2.9%
指標32	3	小中学生の肥満傾向児 (肥満度+20%以上) の割合	(平成25年度) 小学生:6.7% 中学生:7.5%	小学生:減少 中学生:減少	小学生:7.3% 中学生:7.5%
指標36	1②	朝食を欠食する小中学生の割合	(平成24年度) 小学5年生:8.5% 中学2年生:10.9%	小学5年生 5.0% 中学2年生 7.0%	小学5年生:6.7% 中学2年生:9.0%
指標37	1②	規則的な生活リズムで生活する児の割合	1歳6か月児:81.4% 3歳児:75.0%	1歳6か月児:79.0% 3歳児:84.0%	アンケート暫定値
指標全体の評価		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 50%</b></p> <p>1①: 0/6</p> <p>1②: 3/6</p> <p>2: 1/6</p> <p>3: 2/6</p> </div> 			
備考					



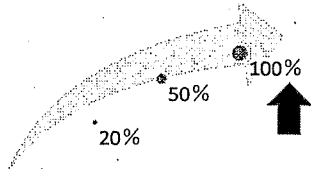
事業名【栄養指導事業】

基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち				
施策分野	2(2)健やかな体と心をつくる学びの推進				
基本施策	2(2)②健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備				
担当課	健康増進課				
関係課					
事業目的	柏市健康増進計画が目指す「全ての市民」が連携・協働し、生涯元気に暮らせるように推進する。 関係団体と連携し、食環境の整備を図る。				
事業目標	市民が健康的な生活ができるよう食生活改善を図るため、市の担当部署と連携し、乳児から高齢者までの幅広い年齢に対し、柏市健康増進計画が目指す「全ての市民」が連携・協働し、生涯元気に暮らせるように推進していく。また、関係団体と連携し、利用者の食環境の改善を図る。				
事業対象者	市民、給食施設およびその従事者、各施設における食育担当者、関係団体				
具体的な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士業務連絡会(栄養改善・健康増進計画の推進を検討)</li> <li>・「健康ちば協力店」、「野菜を食べよう柏協力店」の登録推進(健康づくりを推進する飲食店の増加)</li> <li>・栄養関係団体育成(栄養・健康づくりを担う関係団体の育成)</li> <li>・栄養士養成校保健所実習における指導(地域保健を担う従事者の育成)</li> <li>・講演会の企画(食育推進研修会)</li> <li>・柏市地域栄養相談システム(システムの効果的運用)</li> <li>・食品の特別用途表示、栄養表示基準指導</li> <li>・給食施設への指導・助言</li> </ul>				
総合計画関連計画等における位置づけ	柏市第五次総合計画－施策2-1 健康寿命の延伸－取組1 生活習慣病の発症及び重症化予防の推進－事業1 健康的な食習慣に関する啓発・環境整備				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	—	—	5	20
	実績	—	—	8	25
	*この事業は複数の事業から成り立っている。目標・実績については、その中のひとつ食環境整備である「野菜を食べよう柏協力店」を取り上げた。平成29年度からの事業。				
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力店舗数は柏市保健所管内調理師会の協力や、食品衛生協会講習会での周知により、現在28店舗に増えている。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜摂取の環境整備としての「野菜を食べよう柏協力店」の登録店舗数の増加と市民への周知。</li> <li>・登録店のメリットがないと、協力店舗数が増えない。</li> <li>・健康無関心層への働きかけとして、効果があるのか、評価が難しい。</li> </ul>				

後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	健康無関心層へのアプローチ方法として「自然と健康になれる環境整備」を国は推奨している。千葉県が実施している食環境整備事業「健康ちば協力店」は、今年度(令和元年度)、既存の事業内容を再検討しており、来年度(令和2年度)から改めた内容で実施する予定である。近隣市では、独自の食環境整備に取り組む動きもみられる。柏市としては、市民の食の課題である野菜の摂取不足を解消するため、「野菜を食べよう柏協力店」を推進していく。				
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標23	3	朝食を子どものみで食べている児の割合	1歳6か月児:8.2% 3歳児:8.2%	1歳6か月児:6.5% 3歳児:6.5%	アンケート集計中
指標28	2	妊娠中の食事(三食)の摂取状況(★)	74.5%	80.00%	アンケート集計中
指標31	1②	小中学生の痩身傾向児(肥満度-20%以下)の割合	(平成25年度) 小学生:1.2% 中学生:2.5% (平成26年度) 小学生:1.6% 中学生:3.0%	小学生:減少 中学生:2.0%	小学生:1.3% 中学生:2.9%
指標32	3	小中学生の肥満傾向児(肥満度+20%以上)の割合	(平成25年度) 小学生:6.7% 中学生:7.5%	小学生:減少 中学生:減少	小学生:7.3% 中学生:7.5%
指標36	1②	朝食を欠食する小中学生の割合	(平成24年度) 小学5年生:8.5% 中学2年生:10.9%	小学5年生 5.0% 中学2年生 7.0%	小学5年生:6.7% 中学2年生:9.0%
指標37	1②	規則的な生活リズムで生活する児の割合	1歳6か月児:81.4% 3歳児:75.0%	1歳6か月児:79.0% 3歳児:84.0%	アンケート集計中
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 50%</b></p> <p>1①: 0/6</p> <p>1②: 3/6</p> <p>2 : 1/6</p> <p>3 : 2/6</p> </div> 				
備考					

事業名【●タバコ対策】

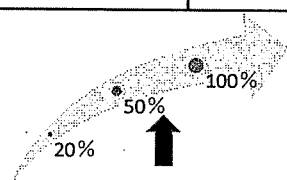
基本目標	2. 子どもの育ちと子育てを支え合うまち				
施策分野	2(2)健やかな体と心をつくる学びの推進				
基本施策	2(2)②健康的な生活習慣の獲得に向けた環境整備				
担当課	健康増進課				
関係課	地域保健課	学校保健課	少年補導センター	他	
事業目的	○たばこに関する正しい知識や情報を普及啓発し、子どもたちが自らの健康を守る選択ができるようになること ○柏市公共施設での敷地内禁煙をはじめ、市民が望まない受動喫煙の被害に遭うことのないようにすること				
事業目標	○未成年者の喫煙経験率0%及び喫煙願望率の減少 ○関係団体・行政機関が協働し、子どもたちをタバコの煙から守る環境を整える				
事業対象者	柏市内小・中学生, 子どもたちの成長を支える大人, 市民全般				
具体的な事業実施内容	①柏ノースモツ子作戦協議会…医療関係機関, 教育関係機関, 行政機関及び柏市PTA連絡協議会や柏市民健康づくり推進員などの関係団体で構成される協議会を開催。各機関が連携し、タバコ対策の推進を図る。 ②柏ノースモツ子作戦出張講座…市内小中学校等において, 依頼を受けた学校薬剤師等がタバコの依存性や健康影響などに関する講座を行う。 ③たばこの煙困りましたカードの配布…飲食店等で受動喫煙に遭った際, お店などへ「受動喫煙防止対策」の意思表示カードを作成。小児科・産婦人科に設置の他, 地域保健課を通じて妊娠届出時等に配布を行っている。				
総合計画関連計画等における位置	柏市健康増進計画				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	-	-	(小学6年生)2.5%	-
	実績	(小学6年生)2.6%	-	(小学6年生)1.9%	-
		(中学3年生)2.8%	-	(中学3年生)2.2%	-
市内小学6年生, 中学3年生にアンケート調査を実施し, 「(たばこを)吸ってみたいと思う(喫煙願望率)」と答えた割合。追跡調査としているため, 調査は3年毎に行っている。次回令和2年度実施予定。なお, 平成20年は小学6年生3.8%, 中学3年生5.6%であった。					
成果	○平成30年度健康増進課アンケートによると, 市内ほぼ全ての学校で柏ノースモツ子作戦出張講座や薬物乱用防止教室等を通じ, 禁煙教育が実施されている。子どもたちの喫煙願望率については, 減少傾向にあり, 今後も継続して事業・調査を行っていく。 ○健康増進法の改正に伴い, 受動喫煙に関する市民の意識の高まりも相まって, 市民からの問い合わせは多くなっている。				
課題	○小中学校において柏ノースモツ子作戦出張講座以外でのタバコによる健康被害などに関する教育を行っているが, 講師によって内容等に差があること。 ○令和元年度から講座の受講対象を子どもたちに関わる団体(スポーツチームや幼稚園・保育園職員)に拡大した。大人を対象とした講座としても開催できることで正しい知識の普及を行うこと。 ○加熱式たばこや電子たばこが流行し, 子どもたちへの影響(火を使わないためより身近になっていないか, 周囲の大人の喫煙の健康被害についてなど)。				

後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画		○出張講座以外でタバコに関する教育を行っている学校等について、内容の一定の統一を図る。 ○加熱式たばこや電子たばこなどの健康影響に関する知識の周知。			
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標34	1②	十代の喫煙率	小学6年生:2.0% 中学3年生:3.1%	0%	
指標35	1②	十代の飲酒率	小学6年生:25.1% 中学3年生:23.6%	0%	
指標全体の評価		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 100%</b></p> <p>1①: 0/2</p> <p>1②: 2/2</p> <p>2 : 0/2</p> <p>3 : 0/2</p> </div> 			
備考					

事業名【●1歳6か月児健康診査事業事後集団指導事業】

基本目標	3. 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち
施策分野	3(1)配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援
基本施策	3(1)①要支援家庭への個別支援の充実
担当課	地域保健課
関係課	こども発達センター
事業目的	児の心身の健全な育成が育まれるように幼児の健康の維持及び問題の早期解決を図る。
事業目標	・保護者の育児支援を行い、保護者が安心して育児を継続できる。 ・子育てに難しさを感じている保護者が、子の成長発育を確認し子育てへの安心感と自信を持って育児をすることができる。
事業対象者	ひよこルーム:1歳6か月児健康診査後、発達面において要経過観察者のうち、集団指導による支援が必要と認められる児
具体的な事業実施内容	・1歳6か月児健康診査事後指導(ひよこルーム)(集団指導) 室内遊びや散歩等の親子参加で行う集団遊び
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組3 配慮が必要な子ども及び子育て家庭への支援 事業4 発達に課題のある子どもへの支援体制の充実
前期の振り返り	
実績	・集団指導を通じて児の発達面を適切に判定し、事後指導と他機関につなげている。
成果	・保護者が安心して子育てができる支援につながっている。
課題	・対象者の適切なスクリーニング
後期計画期間5年間の事業実施計画	
実施計画	・事業継続と、対象者の適切なスクリーニングを実施。

評価指標の推移

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3～6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6%
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標25	1②	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	3～4か月児:88.3% 1歳6か月児:89.3% 3歳児:84.6%	3～4か月児:90.0% 1歳6か月児:90.0% 3歳児:90.0%	3・4か月児:85.4% 1歳6か月児:97.8% 3歳児:87.0%
指標26	1②	虐待の可能性のある行為をしている親の割合	3～4か月児:10.0% 1歳6か月児:36.0% 3歳児:58.5%	3～4か月児:5.0% 1歳6か月児:18.0% 3歳児:25.0%	3・4か月児:10.5% 1歳6か月児:21.4% 3歳児:42.2%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3～6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3～6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」「時々感じる」 3・4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8% 3歳児:35.4%
指標全体の評価		<p>改善割合 60%</p> <p>1①: 0/5</p> <p>1②: 3/5</p> <p>2: 2/5</p> <p>3: 0/5</p> 			
備考					

事業名 【●未熟児・多胎児等支援事業(のびのび相談)】

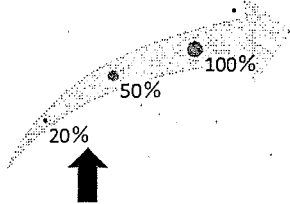
基本目標	3. 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち
施策分野	3(1)配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援
基本施策	3(1)②発達発育・養育環境等の不安の軽減
担当課	地域保健課
関係課	
事業目的	児の発育発達の確認とそのことに応じた適切な相談や保健指導を行なうことにより、安心して子育てに取り組むことができる。また、子育て支援情報の獲得、保護者同士の交流、虐待予防の視点を含めた育児支援を行う。
事業目標	低体重で産まれた児が健やかに育ち、保護者が安心して子育てできる。
事業対象者	2,500g未満で出生した児や未熟児養育医療受給児、発育や発達の心配のある児とその保護者
具体的な事業実施内容	小児科医師による診察と相談・発達相談・身体計測・育児相談・栄養相談・母乳相談、グループワークにおける親子のスキンシップ(手遊びなど)や親子の交流、離乳食の講話等。
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業3 乳幼児の健やかな成長支援

前期の振り返り

実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	なし	80%	82%	
	実績	なし	71.0%	69.1%	
※来所率					
成果	来所率が高くない。医療機関等でのフォローを受け、本事業のニーズがあまり高くないものと考えられる。また、来所者・未来所者共に、密な支援が必要と考えられるケースは既に地域担当保健師が把握し、早期に支援を開始することができている。全数対象の事業も増え、他事業で本事業の役割を集約できると考え、平成29年度に廃止となった。				
課題	妊娠子育て相談センターでの全数面接、新生児訪問、8か月児相談事業等で低体重児を含めた、支援が必要なケースの把握、フォローを行う必要がある。				

後期計画期間5年間の事業実施計画

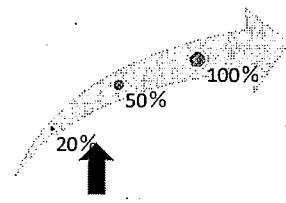
実施計画	要支援ケースの早期発見は、妊娠子育て相談センターでの全数面接等で行う。児の成長発達・母の育児不安等のスクリーニングは、8ヶ月相談事業にて行うことができる。また、これまでと同様に2000g未満で出生した児や個別支援を要するケースを地域担当保健師がフォローできるよう、ケース管理を行う。
------	---

評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3～6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6% 合計:93.6%
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3～6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3～6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」 「時々感じる」 3・4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8% 3歳児:35.4%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>改善割合 33.3%</p> <p>1①: 0/3</p> <p>1②: 1/3</p> <p>2: 2/3</p> <p>3: 0/3</p> </div> 				
備考					



事業名【●小児慢性特性疾病医療支援事業】

基本目標	3. 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち				
施策分野	3(1)配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援				
基本施策	3(1)②発達・養育環境等の不安の軽減				
担当課	地域保健課				
関係課	障害福祉課 保健予防課				
事業目的	小児慢性特定疾病に係る公平かつ安定的な医療費助成制度を確立するほか、慢性疾病児童の自立支援事業、小児慢性特定疾病の調査および推進。				
事業目標	当事業から把握したニーズを、個別支援・自立支援事業に繋げる。				
事業対象者	18歳未満(継続の場合20歳未満)の児童で、厚生労働省が定める慢性疾患及び当該疾患ごとに定める疾患の状態の程度に該当する者。				
具体的な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請の受付、審査会の実施</li> <li>・小児慢性特定疾病医療受給者証の発行</li> <li>・医療費の助成</li> <li>・保健師全数面接、地域担当への引継ぎ</li> <li>・交流会の実施</li> </ul>				
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援事業3 乳幼児の健やかな成長支援				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	なし	98%	98%	98%
	実績	なし	95%	96.8%	90.1%
	※保健師面接実施率				
成果	<p>保健師による全数面接を実施し、面接率は90%以上を維持。                  事業で把握した情報を、必要時地域担当保健師と共有し、連携している。                  平成28年度より、自立支援事業の一環として保護者交流会を実施。よりニーズに合ったテーマや対象者となるよう、検討し実施している。</p>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務内容の簡素化、職種の役割分担を明確にする。周知・発送は受給者に不利益のないよう適切な時期に行う。</li> <li>・面接票や交流会アンケートからニーズを抽出し、より具体的な個別支援・自立支援事業につなげる。</li> <li>・災害時の支援体制について、関係部署と連携をとりながら、当課の役割を明確にする。</li> </ul>				

後期計画期間5年間の事業実施計画					
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接票やアンケートをもとに対象者の現状とニーズを把握し、本児業の課題を分析する。</li> <li>・高まるニーズに対応するため、日頃からの関係機関と連携を図っていく。</li> <li>・長期的な視点で自立支援事業を実施するために、固定した自立支援員を雇い、個々及び集団の適切な支援につなぐ。</li> <li>・災害時の連絡手段や、支援方法を関係機関と協働し、検討する。</li> </ul>				
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3～6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6%
指標19	2	子どものかかりつけ医師を持つ親の割合	3～6か月児:59.3% (平成26年度) 1歳6か月児:81.1% 3歳児:80.6%	3～6か月児:72.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:88.0%	アンケート集計中
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」 「時々感じる」 3～6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3～6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」 「時々感じる」 3・4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8% 3歳児:35.4%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 25%</b></p> <p>1①: 0/4</p> <p>1②: 1/4</p> <p>2: 3/4</p> <p>3: 0/4</p> </div> 				
備考					

事業名【●養育医療給付事業】

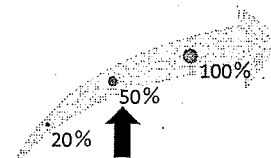
基本目標	3. 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち
施策分野	3(1)配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援
基本施策	3(1)②発達発育・養育環境等の不安の軽減
担当課	地域保健課
関係課	こども福祉課
事業目的	入院治療が必要な未熟児の医療費の助成を行い、未熟児家庭の経済的な支援を行う。また、窓口での保健師面接を実施し、育児不安の出やすい未熟児の在宅療養の保健指導介入のきっかけとする。
事業目標	入院中から当該事業の保護者の不安に寄り添い、ニーズに合った支援を実施していくことで、退院後に地域で安心して育児ができるように支援する。
事業対象者	出生時体重が2000g未満もしくは、生活力が薄弱で、医師が未熟児として入院治療が必要と認めた児
具体的な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請の受付、審査</li> <li>・養育医療券の発行</li> <li>・入院中の医療費の助成、こども医療費助成制度と公金振替</li> <li>・保健師面接(母子の状況把握)、地域担当への引継ぎ</li> </ul>
総合計画関連計画等における位置づけ	○柏市第五次総合計画書 施策1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細やかな支援の推進 取組1 子どもの健やかな成長支援 事業3 乳幼児の健やかな成長支援

前期の振り返り

実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値				
	実績				
成果	窓口面接時から地域担当保健師へ繋ぎ、早期介入に努めている。				
課題	どの職員でも一貫した対応ができるよう、地域担当保健師の個別支援へ繋げる体制を整える。低体重児支援が滞りなく行えるよう、後続の事業との連携方法も検討が必要である。				

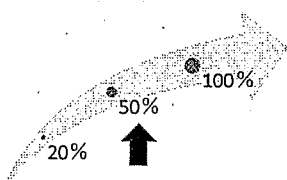
後期計画期間5年間の事業実施計画

実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養育医療給付申請時、保健師面談を細やかに実施し、必要に応じて地域担当保健師が面談に同席するなどにより、早期支援へつなげる。</li> <li>・医療機関や、里帰り中の新生児訪問についてなど、各機関・担当と密に連携をとり、切れ目のない支援が行えるよう配慮する。</li> <li>・未熟児の入院中から退院後の育児や、多胎の育児について、媒体を用いることでわかりやすく説明をする。また、どの職員が対応しても細やかに支援ができる体制を整える。</li> </ul>
------	---

評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3～6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3～6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」「時々感じる」 3・4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8% 3歳児:35.4%
指標全体の評価	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><b>改善割合 50%</b></p> <p>1①: 0/2</p> <p>1②: 1/2</p> <p>2 : 1/2</p> <p>3 : 0/2</p> </div> 				
備考					

事業名 【●こども発達センターの事業】

基本目標	3. 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち				
施策分野	3(1)配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援				
基本施策	3(1)②発達・養育環境等の不安の軽減				
担当課	こども発達センター				
関係課	地域保健課	保育運営課	児童生徒課	障害福祉課	
事業目的	発達や養育に不安や心配のある就学前の児童とその保護者を対象に面接や発達評価を実施し、必要な支援や情報提供等を行うことで、問題の軽減や改善を図る。				
事業目標	発達の気になる早期の段階から相談に応じ、必要な時期に必要な支援を提供し、保護者のこどもへの理解の促しやこどもの成長発達を促す。また民間児童発達センター等の事業所や幼稚園保育園等の関係機関や関係部署と連携を図りよりよい支援の充実を目指す。				
事業対象者	発達の気になる未就学児とその保護者(一部学齢児)				
具体的な事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口:相談の受け付けから面接を実施し、支援の決定を行う</li> <li>・個別支援:理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理相談員による個別訓練</li> <li>・集団支援:小集団による療育(4～10名程度の集団)</li> <li>・柏市障害児等療育支援事業(外来療育相談、巡回支援等)</li> <li>・児童発達支援(キッズルームひまわり、キッズルームこすもす)</li> <li>・保育所等訪問支援(キッズルームひまわり)</li> <li>・障害児相談支援(サービス利用計画の作成等)</li> </ul>				
総合計画関連計画等における位置づけ	柏市第5次総合計画 施策 1-4.子ども及び家庭の状況に応じたきめ細かな支援の推進 取組 3)配慮が必要な子ども及び子育て家庭への支援 事業 4)発達に課題のある子どもへの支援体制の充実				
前期の振り返り					
実績	年度	平成27年度(計画策定時)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	目標値	400	400	400	400
	実績	387	452	403	422
こども発達センター新規 面接実施数					
成果	学校教育で支援が必要な児は10パーセント近くいると言われている。こども発達センターには、およそ出生児の約11パーセント前後が、就学までに相談につながっており、相談支援の機能が果たされていると推測できる。				
課題	児童の発達に関する相談支援体制の整備、及び民間事業所、幼稚園保育園等の関係機関との連携、障害児理解の促進や療育支援の充実。				
後期計画期間5年間の事業実施計画					

実施計画 ①現行の事業に取り組みながら、相談支援体制の現状の把握と課題の検討に取り組む。 ②最近増えつつある民間事業所と連携を図りながら療育の質の向上に取り組む。					
評価指標の推移					
計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標10	2	今後も柏市で子育てをしたいと希望する親の割合(★)	3～6か月児:96.7% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:91.2%	3～6か月児:97.0% 1歳6か月児:94.0% 3歳児:92.0%	3・4か月児:92.5% 1歳6か月児:92.7% 3歳児:95.6% 合計:93.6%
指標24	1②	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～4か月児:82.1% 1歳6か月児:78.2% 3歳児:70.8%	3～4か月児:89.0% 1歳6か月児:88.0% 3歳児:83.0%	3・4か月児:86.0% 1歳6か月児:83.1% 3歳児:77.4%
指標25	1②	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	3～4か月児:88.3% 1歳6か月児:89.3% 3歳児:84.6%	3～4か月児:90.0% 1歳6か月児:90.0% 3歳児:90.0%	3・4か月児:85.4% 1歳6か月児:97.8% 3歳児:87.0%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3～6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3～6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」 「時々感じる」 3・4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8% 3歳児:35.4%
指標全体の評価	改善割合 50% 1①: 0/4 1②: 2/4 2: 2/4 3: 0/2				
備考					

事業名【●保育機関への助言相談(巡回相談)】

基本目標	3. 配慮が必要な子どもの健やかな成長を見守り支え合うまち
施策分野	3(1)配慮が必要な子ども及び配慮が必要な子育て家庭への切れ目のない支援
基本施策	3(1)④地域の医療、福祉、保育、教育、療育機関等との連携の強化
担当課	地域保健課
関係課	こども発達センター
事業目的	児の障害の早期発見及び早期療育開始
事業目標	保育施設での適切な発達支援を行い、こども発達センター等療育機関での発達支援につなげることができる。
事業対象者	柏市内の保育機関に通園する未就学児のうち、社会性等の発達が気になる児
具体的な事業実施内容	保育機関にて、心理相談員等が対象となる児について観察し、関わりや支援について保育士等職員に助言指導を行う。
総合計画関連計画等における位置づけ	柏市第5次総合計画 施策 1-4.子ども及び家庭の状況に応じたきめ細かな支援の推進 取組 3)配慮が必要な子ども及び子育て家庭への支援 事業 4)発達に課題のある子どもへの支援体制の充実

前期の振り返り

実績	
成果	・保育施設での適切な関わり方や支援について助言を行うことができた。 ・こども発達センター等療育機関での発達支援につなげることができた。
課題	母子保健事業や療育支援との情報共有

後期計画期間5年間の事業実施計画

実施計画	連携の維持強化
------	---------

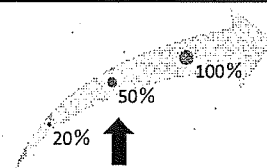
評価指標の推移

計画における指標	達成度	指標名	データベース	目標値 5年後	現状値
指標25	1②	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	3~4か月児:88.3% 1歳6か月児:89.3% 3歳児:84.6%	3~4か月児:90.0% 1歳6か月児:90.0% 3歳児:90.0%	3~4か月児:85.4% 1歳6か月児:97.8% 3歳児:87.0%
指標38	2	母が育てにくさを感じている割合(★)	「いつも感じる」「時々感じる」 3~6か月児:24.1% 1歳6か月児:24.6% 3歳児:33.0%	3~6か月児:16.0% 1歳6か月児:20.0% 3歳児:27.0%	「いつも感じる」 「時々感じる」 3~4か月児:16.6% 1歳6か月児:23.8% 3歳児:35.4%

指標全体の評価

改善割合 50%

- 1①: 0/2
- 1②: 1/2
- 2: 1/2
- 3: 0/2



備考

